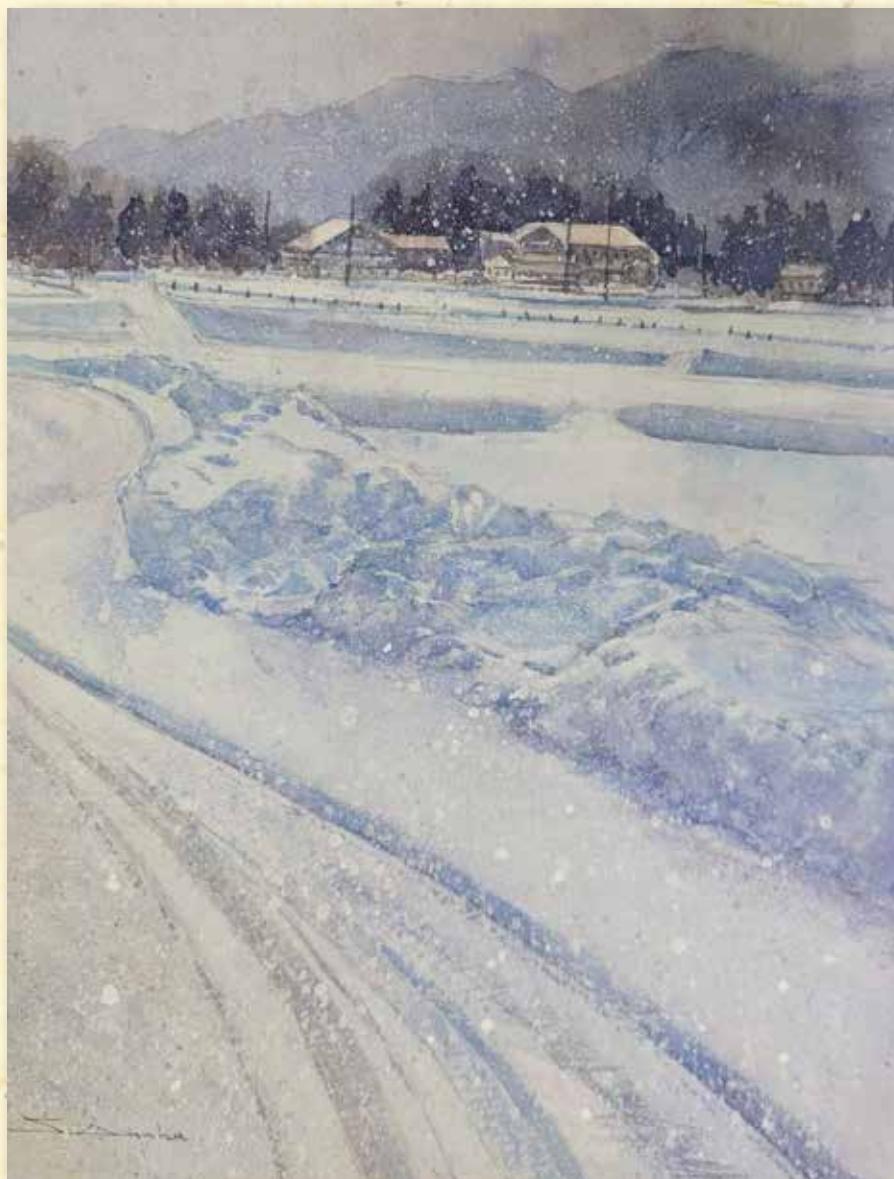




沖縄県薬剤師会報

No.330. 2025(令和7年) 11・12月号



沖縄県薬剤師会

／目／次／

	令和7年度沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会のご案内	(1)
表 彰	第84回九州山口薬学大会表彰 狩俣イソ先生…………… 川平 真央 (2)	
	令和7年度沖縄市教育委員会表彰 仲真良重先生…………… 平安山 丈継 (2)	
	沖縄県薬事功労者知事表彰 幸地良信先生・諸見牧子先生…………… 川平 真央 (3)	
	沖縄県薬剤師会会长表彰 新城光雄先生・石川恵市先生・浦崎清子先生・高木英子先生・新嵩由香先生・盛本直也先生・野崎真敏先生… 川平 真央 (3)	
日薬学術大会	第58回日本薬剤師会学術大会 そうだ、薬剤師に聞いてみよう～プロフェッショナリズムの涵養～… 翁長 真一郎 (4)	
ぶれいくたいむ	完走信じ月50キロ練習…………… 古謝 玄太 (7)	
九山学術大会	第84回九州山口薬学大会 シンポジウム5「多様な子どもたちの心と身体を守るために」… 長瀬 涼 (8)	
薬業連合会	「神農御尊像図」一幅拝受 ……………… 大城 喜仁 (9)	
災害対策	沖縄県災害薬事コーディネーター令和7年度技能維持・スキルアップ研修会 … 西坂 順 (10)	
学術研修	令和7年度第1回沖縄県薬剤師研修協議会主催講演会 心エコー図から考える心不全ステージを踏まえた高血圧治療…………… 神矢 佑輔 (12)	
在宅医療推進	令和7年度訪問薬剤管理指導推進事業在宅訪問薬剤師座学研修会 在宅薬剤師の臨床推論スキルを磨く： 想定外の瞬間に備え～患者宅での判断力を鍛えるワークショップ～ ……………… 市岡 伶央名 (14)	
実務実習	認定実務実習指導薬剤師向けコミュニケーション研修会～指導薬剤師としての「心技体」～ … 具志堅 咲 (16)	
	第90回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ（薬学教育者ワークショップ） in九州・熊本 ……………… 大城 研・橋本 正嗣・安田 泰行 (17)	
スポーツファーマシスト	第79回国民スポーツ大会参加～アンチ・ドーピング活動の課題と今後～ … 吉田 典子 (20)	
月例相談会	第201回健康とおくすり相談会 ……………… 有銘 未香 (22)	
D I	薬事情報おきなわNo. 287…………… 薬事情報センター (23)	
試験検査センター	試験検査センターからのお知らせ…………… (37)	
薬草学	身近な薬草を知ろう 第72回暮らしの中の薬草学 かいわれ大根 … 狩俣 イソ (38)	
リレー随筆	「大学時代の思い出」…………… 久手堅 奈央 (40)	
転載記事	人材が組織力強化 第10回健康経営シンポジウム…………… 村田 美智子 (41)	
薬連だより	政幸だより「アポテカプロジェクトと地域医薬品提供体制」…………… 神谷 政幸 (42)	
	オレンジ日記「臨時国会～新たな連立枠組みへの期待と懸念」…………… 本田 顕子 (43)	
日薬通達	「国民医療を守るために総決起大会」の開催について（ご報告）…………… (44)	
医療保険	県内全保険薬局を対象とした医療DXに関するアンケートの集計結果について（ご報告）… (48)	
年間目次	おきなわ薬剤師会報 令和7年目次 通巻326号～330号 ……………… (50)	
会務報告	令和7年10月～11月分 ……………… (59)	
編集後記	…………… (62)	
会員作品	誌上ギャラリー（裏表紙）について…………… (63)	
お知らせ	保険薬局におけるB C P（業務継続計画）の策定について…………… (11)	
	沖縄県薬剤師会Facebookをご覧ください！…………… (13)	
	地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！…………… (16)	
	会報原稿募集のご案内…………… 広報委員会 (63)	
	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について…………… (61)	
計 報	伊集俊雄先生、ご冥福をお祈り申し上げます。…………… (61)	

・表紙

「安曇野 冬の山里」 水彩画 by 小那霸 幸子 (おなは薬局)

題字：豊平峰雲

令和7年度 沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会のご案内

日時：令和8年1月18日（日）正午～

会場：ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城 首里の間

【薬事功労者厚生労働大臣表彰】	村田 美智子氏
【沖縄県薬事功労者知事表彰】	幸地 良信氏 諸見 牧子氏
【九州山口薬学大会表彰】	狩俣 イソ氏
【沖縄県薬剤師会会長表彰】	新城 光雄氏 石川 恵市氏 浦崎 清子氏 高木 英子氏 新嵩 由香氏 盛本 直也氏 野崎 真敏氏 <small>(故人)</small>
【日本薬剤師会有功賞】	大井 雅江氏 川満 建英氏 仲井間 清氏 中原 慶子氏 仲村喜久子氏 平安山春江氏 宮城 正明氏 新城 光枝氏 野崎 真敏氏 <small>(故人)</small>
【沖縄県薬剤師会貢献賞】	石原 英子氏 金城可代子氏 具志堅優子氏 玉城 幸輝氏 玉城 克治氏
【公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰】	村上 市子氏
【学校保健功労者文部科学大臣表彰】	我喜屋 美香氏
【沖縄県学校保健会表彰】	新垣 慶朗氏 糸嶺 達氏 奥間美智子氏
【沖縄県公衆衛生大会長表彰】	長嶺 文子氏
【日本公衆衛生事業功労者表彰】	幸地 良信氏

※祝賀会チケットをお求めの方は、地区薬剤師会・部会または沖縄県薬剤師会事務局までご連絡ください。

第84回九州山口薬学大会表彰



狩俣イソ先生、おめでとうございます

去る9月14日・15日に佐賀県で開催された第84回九州山口薬学大会において、狩俣イソ先生が第84回九州山口薬学大会表彰を受賞されました。

狩俣先生は平成22年から本会の女性薬剤師部会副部会長として、通信教育講座やスクーリング運営にご尽力されています。第73回九州山口薬学大会では、薬草18種をまとめた冊子を発表され、平成24年には「九州各県の家伝薬事情」についてポスター発表を行うなど、積極的な活動を続けてこられました。また、平成24年から続く本誌の薬草学連載は今号で72回を迎えます。

さらに、「妊婦・授乳婦と薬」の勉強会を沖縄県病院薬剤師会と共同で実施し、浦添市・那覇市の乳児健診では月1回のお薬相談を継続するなど、多岐にわたる取り組みが高く評価され、今回の受賞となりました。

狩俣先生、この度のご受賞、おめでとうございます。

(文：事務局 川平真央)



令和7年度沖縄市教育委員会表彰



仲真良重先生、おめでとうございます



仲真先生は、昭和63年4月に沖縄市立島袋小学校・島袋幼稚園の学校薬剤師に委嘱され、以来、37年間学校薬剤師として活動されています。学校環境衛生検査では、その専門性を活かし学校側に適切な指導助言を行い、環境衛生及び学校保健の向上に努められています。児童生徒らの健康増進に寄与する取り組みが評価され今回の受賞となっております。

仲真良重先生、この度のご受賞、誠におめでとうございます。

(文：事務局 平安山丈継)

沖縄県薬事功労者知事表彰



幸地良信先生、諸見牧子先生 おめでとうございます



幸地理事と諸見先生の多年にわたる薬事の発展と安全に貢献された功績が認められ、沖縄県知事より表彰されました。

表彰式は去る10月19日（日）に開催された「くすりと健康フェア」にて執り行われ、比嘉奈緒子沖縄県保健衛生統括監（写真左）より、諸見牧子先生（中央）と幸地良信先生（右 代理：前濱会長）へ賞状が手渡されました。

（文：事務局 川平真央）

沖縄県薬剤師会会长表彰



新城光雄先生、石川恵市先生、浦崎清子先生、高木英子先生
新嵩由香先生、盛本直也先生、野崎真敏先生
（故人）
おめでとうございます



本会において薬剤師業務に従事し、会や地域社会等への貢献が顕著で他の模範となる個人又は団体に対し贈られる表彰を今年度は7名が受賞されました。

受賞者へ来年1月18日（日）に開催予定の沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会の案内通知をお送りいたしますので、是非ご出席のほどよろしくお願ひいたします。

改めて、受賞者の皆様へ心よりお祝い申し上げます。

（文：事務局 川平真央）

日薬学術大会

第58回日本薬剤師会学術大会 そうだ、薬剤師に聞いてみよう～プロフェッショナリズムの涵養～

会期：令和7年10月12日（日）～13日（月・祝）

会場：国立京都国際会館

株式会社アトル
翁長 真一郎



I. 大会概要と参加目的

第58回日本薬剤師会学術大会は、「そうだ、薬剤師に聞いてみよう～プロフェッショナリズムの涵養～」をテーマに、2025年10月12日（日）から10月13日（月・祝）にかけて開催された。

本大会は、2025年5月14日に成立・同21日に公布された薬機法改正により、「薬局開設者は、関係行政機関との連携等により、医療を受ける者に必要な薬剤及び医薬品の安定的な供給を図る」とすることが法的に明確に求められた（第1条の5）という重要な背景の中で開催された。日本薬剤師会は、この実現に向けた「地域医薬品提供体制強化のためのアクションリスト」を策定しており、地域の薬局・薬剤師会による「地域体制」の視点からの医薬品・薬剤師サービスの提供の再点検・再構築が重要視されている。

医薬品卸勤務薬剤師として、薬局・病院薬剤師が直面する医薬品の安定供給や地域医療連携、薬局のDX化の現状と課題を深く理解し、地域医療への貢献の方向性を探ることを目的として、以下のセッションを聴講した。

II. 聴講内容と主な知見

聴講したセッションを、「薬局経営・効率化」および「多職種連携・臨床実践」、「対人業務」の3つの主要テーマに分類した。

1. 薬局経営・効率化とDXへの対応

(1) 薬局経営・薬局形態

薬局の待ち時間短縮のため、DXによる業務改善を検討し、「ファストスルー調剤（特定の条件を満たす場合には薬局での待ち時間を極端に減らせる方法）」を考案。受付時に薬

剤師が鑑査・指導を行い、患者は帰宅。その後、薬局側で入力、調剤、オンライン決済を完了させ、郵送または再来局で薬を受け取る方法が事例紹介され、患者サービスの向上に貢献する可能性が示された。

自動秤量機能付き散薬分包機および水剤分注機導入後の作業効率についての検証結果も報告されていた。導入後の散剤の廃棄金額は実際減少していたが、残業時間や服薬情報提供料、重複投与防止加算の算定頻度には大きな変化はなかった。機器導入は調剤ミスを減らし、監査・服薬指導のための時間的余裕を生むことが示唆された。これは対人業務の充実と業務効率化の両立に役立つと考えられる。

経営から見た日専同流健康指導という発表では、「選ばれる薬局」になるための差別化を課題と捉え、健康指導実施店舗と非実施店舗を比較調査した結果、健康指導実施は処方箋集中率の低下とOTC等客単価の向上に寄与し、薬局経営に有用な差別化策となる可能性が示唆されたとのことだった。

(2) 薬局DXとAI活用

薬局業務の高度化と多忙化が進む現状において、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進と、日々進化するAIの積極的な導入が、今後の医療基盤を支える上で不可欠であると再認識した。特に、医療情報をいかに効率的に要約するかが重要な課題であり、現在、医療文書作成の補助として、音声をテキストに変換・要約する生成AI機能の搭載が始まっている。AIを実際に活用する上での留意点として、「知識・経験・年齢にとらわれず、

AIに“指示を出す”ことを意識する」という点が強調された。これは、個人利用においても、生成AIは具体的なプロンプトなくして明確な回答を提供しないという実態に基づいており、AIの能力を最大限に引き出すための「明確な指示出し」の重要性を深く認識する機会となった。

2. 多職種連携・臨床実践

(1) 多職種連携

薬剤師の積極的な関与が、地域医療連携の起点となった事例の報告では、「薬が足りない」との訴えを繰り返す独居高齢者のご自宅を訪問。服薬管理と生活状況から介護の必要性を感じ、地域包括支援センターへ情報提供した。地域包括支援センターより、介護支援介入に向けアクションを起こすとの回答を得ることができ、この一連の内容を主治医にも報告した。これにより多職種による支援介入へと繋がった。薬剤師が患者の訴えに傾聴し、患者背景や生活状況を把握し、考察し、多職種へ有意義な医療情報を適切に橋渡しすることは、チーム医療の更なる発展に貢献することに繋がる。

介護支援専門員のニーズに即した保険薬局の在宅訪問業務に対する現状評価では、在宅医療におけるケアマネジャーとの連携強化を目的に、薬剤師へ在宅訪問業務に関するアンケート調査を実施した結果、身だしなみ等は高く評価される一方、ケアマネの繁忙期への配慮や報告の迅速性に課題が見えてきたとの報告があり、自立支援の研修や迅速な報告、繁忙期への配慮を通じて、ケアマネジャーとのより良い関係構築に努めていくとのことだった。

(2) 臨床実践

薬局薬剤師として電話フォローを通じた免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法中の有害事象に対応した事例報告では、免疫チェックポイント阻害薬による乳癌術前薬物療法中の患者に、電話フォローとトレーシングレポートを活用し、搔痒感の早期発見と

介入提案により、QOLを維持したまま治療を完遂できたとの内容だった。外来化学療法では、薬局薬剤師による事前電話フォローが有害事象の早期発見と重篤化回避に不可欠だと再認識した。加えて、質の高い質疑応答が行われ、支持療法が抗がん剤の有効性を減弱させないかという視点も重要であることも共有された。

病院、訪問診療医、薬局の連携により外来がん化学療法における副作用軽減に努めた事例報告では、トラスツズマブ デルクステカン (T-Dx) 施行中の乳がん患者に対し、薬局が大学病院・訪問診療医と密に連携し、迅速な副作用対応と減量提案を実施。8コースの治療完遂を支援し、外来化学療法における薬局の在宅フォローアップの重要性を示していた。こちらの事例でも、電話フォローからのトレーシングレポート提出による情報共有が行われており、がん領域における薬-薬連携強化の一助になるのではないかと推測された。

3. 対人業務

(1) 「見える化」の重要性

厚生労働省薬事企画官からは、薬局の機能と成果を明確に「見える化」することの重要性についてご講演いただいた。薬剤師には、対物業務から対人業務への転換が喫緊の課題として求められている。地域包括ケアシステムにおける重要な担い手として社会的な信頼を獲得し、その役割を果たすためにも、薬局が提供する機能と成果を明確に示す「見える化」が不可欠であると強調した。この「見える化」の重要性は、以下の二つの視点から考察すると良いという。

①機能・サービスの視点

- ・地域の医療課題の認識と共有
 - ・患者、地域住民に対する理解の促進
 - ・多職種連携の円滑化
- ②プロセス・アウトカムの視点
- ・業務水準の均てん化
 - ・成功事例の横展開（ベストプラクティス）

の共有)

- ・社会に対する説明責任の遂行
- ・薬剤師への適切な評価の確立

これらの視点を通じて、薬局・薬剤師の活動の質を向上させ、社会的な価値を創造していくことが必要だという。

(2) 医療の質指標 (QI) の活用

上記内容を基に、別の演者から、薬剤師業務の「見える化」の重要性と、その具体的な手法としてのケアの質指標 (QI) の活用に焦点が当てられた。まず、薬剤師の対人業務の専門的価値を社会へ伝えるための「業務の見える化」が強調された。評価軸は従来の量的指標から、薬学的介入によるQOL向上や副作用回避といった質的成果へと移行しつつあり、今後は医療の質指標 (QI) の応用は、対人業務の質を客観的に評価し、継続的な業務改善を図る可能性が示唆された。

続いて、QIを活用した薬剤師業務の質担保・向上に関する国際的な動向と国内の取り組みが概説された。演者は欧洲を中心とした臨床薬学研究団体であるPharmaceutical Care Network Europe (PCNE) で世界標準のQI開発を主導しており、国内でも在宅・多剤併用患者ケアのQIを開発・運用している。QIの導入は、薬剤師の専門性向上と国民の健康維持に大きく貢献する道筋を示すものであるという。

III. 総合考察と今後の業務への応用

1. 総合考察：二大課題への対応

第58回日本薬剤師会学術大会のテーマである「プロフェッショナリズムの涵養」は、2025年薬機法改正が明確に求めた「医薬品の安定供給」の責務と、それを可能にする「対人業務の高度化・質の担保」という、現代の薬剤師が直面する二大課題への対応を強く意識づけるものだった。

聴講を通じて、地域の医療インフラを担う薬局・薬剤師が、対物業務の効率化 (DX、機器導入) によって時間を創出し、その時間を多職種連携や高度な臨床実践に投じること

で、医療貢献度を高めようと奮闘している実態を深く理解することができた。また、厚生労働省からも強調された「見える化」や医療の質指標 (QI) の活用は、薬剤師の専門的価値を社会に示し、評価を確立するための喫緊の課題であることを再認識した。

2. 今後の業務への応用：地域医療の基盤強化

医薬品卸勤務薬剤師として、本大会で得た知見は、今後の地域医療貢献の方向性を明確に示すものである。薬局・病院薬剤師が本来の専門性を発揮できる環境を整えるため、以下の3点に注力し、業務に応用していく。

(1) 安定供給の徹底と情報提供の迅速化

大会の背景ともなった医薬品の安定供給は、薬局の機能発揮の前提である。医薬品卸の責務として、供給体制の確実な維持に努めるとともに、最新の供給情報を正確かつ迅速に薬局・病院へ提供していく。これは、薬局薬剤師が調剤に関わる不安要素を最小限に抑え、対人業務に集中するための揺るぎない基盤となるためである。

(2) DX・効率化支援を通じた対人業務の時間創出

「ファストスルーアド」や「調剤機器導入」の事例が示すように、対物業務の効率化は、薬剤師が患者フォローや多職種連携に割くべき「時間」を創出する。今後は、単に物資を提供するだけでなく、薬局経営の差別化に資する健康指導の取り組みや、AIを活用した情報要約・明確なプロンプト設計といったDXの最新動向を提案し、業務効率化による薬剤師の専門性発揮を後押ししていく。

(3) 「見える化」への協働と付加価値の創造

薬局機能の「見える化」とQIの活用は、薬局が社会的な信頼を獲得するために不可欠である。医薬品卸としても、薬局の活動成果に貢献できるデータや経営分析などの付加価値サービスを提案し、薬局と協働で地域住民の健康アウトカムを創出していく体制を目指す。

～お茶ブレイク～

久しぶりに参加した全国学会、日本薬剤師会学術大会は今回が初参加でした。

初日のプログラムは、比較的ゆったりとしたスケジュールながら、16会場での開催となり、聴講したいプログラムが重複し、悩ましくもありました。

展示エリアでは、電子薬歴システム関連メーカーのブースが大半を占め、かつての製薬企業ブースのような華やかさを感じました。特にAI機能搭載を巡るアピール合戦が展

開されており、医療DX化の波を実感し、驚嘆しました。

このような貴重な機会をえてください本当にありがとうございました。今後、地域医療へのさらなる貢献に寄与していきたいと考えております。

学会の合間の時間を利用し、三十三間堂を訪問し、近くの梅香堂で抹茶パフェを堪能する機会にも恵まれました。京都での有意義な学会参加となりました。



本会の古謝玄太副会長が紹介されました。

那覇市副市長の古謝玄太⁽⁴¹⁾です。戦後80年の節目の年に、NAHAマラソンで南部の戦跡を走ることに大きな意義があると感じています。

副市長就任を機に初出場したのが2年前。マラソン未経験でしたが、練習のかなり完走しました。達成感は今でも覚えています。



完走信じ月50キロ練習

第39回NAHAマラソンに出場する古謝玄太那覇市副市長 12日、那覇市役所



第39回NAHAマラソン申し込み用QRコード

九山薬学大会

第84回九州山口薬学大会

シンポジウム5 「多様な子どもたちの心と身体を守るために」

日時：令和7年9月15日（月）9：30～12：30

会場：佐賀市文化会館 大会議室

佐賀市の心理臨床相談室りんごの木代表であり公認心理師である細川佳博氏が「多様性の時代に生きる子どもたちの「護り」」の演題で講演された。

「多様性」という言葉は、1980～90年代の日本社会において徐々に浸透し始めた。これは、「画一性」と同じ価値観、同じ生き方を良しとする社会的風潮からの脱却を意味する。現代の子どもたちは、こうした多様性が既に社会に根付いた環境で育ち、性別、国籍、価値観、学び方などの違いを当たり前として受け入れている。しかしこの当たり前は、無自覚であるがゆえに、子どもたち自身がその複雑さや葛藤に気づきにくく、支援の手が届きにくいという側面もある。

多様性は、個人の生き方や在り方の選択肢を広げる一方で、「自分で選ぶこと」「自分で決めること」への責任を伴う。子どもたちは、まだ発達途上であり、自主性が未発達にもかかわらず、自己決定の重圧に晒される場面が増えている。進路選択、友人関係、アイデンティティの形成など、日常の中で多くの選択を迫られる。このような自由と責任のアンバランスが、子どもたちの「生きづらさ」につながっている。特に、家庭や学校などの支援が不十分な場合、子どもたちは孤立しやすくなる。こうした多様性の中で苦しむ子どもたちが増えており、子どもたちは「自分らしく生きる」ことを求められながらも、その方法が分からず、自己否定や不安に陥る。若年層におけるオーバードーズ（薬物の過剰摂取）の増加は、こうした生きづらさの現れの一つと考えられる。薬物は、現実からの一時的な逃避手段として機能してしまうことがある。自主性が育たぬまま、多様性の中に放り込まれるとその大波に飲み込まれることになり、

ゆい大東薬局
長瀬 涼



「生きづらさ」に苦しむことになる。

自主性を育てていくには「間違っても大丈夫」という誤りを認められる環境が必要であり、そのために私たち大人の「護り」が大切である（守りではない）。

「護り」とは子どもが中心にいてその周りをぼんやりと囲っている、中心の周りをやんわり括るイメージであり、その囲いの中では子どもたちに自由に選択させる。その選択の中で自主性が育まれる。

この講演の中でオーバードーズはいけないが、することには意味がある。オーバードーズをしてしまった後、事故などに繋がらないように、「うろうろ歩き回らないことを約束してもらう。もちろんオーバードーズはいけないことだが、咎めるだけではダメ」という言葉が印象的だった。子どもを護るという目的のために、私達薬剤師は医療や薬からのサポートを考えがちだが、その目的を達成するためには他にもアプローチがあり、連携しながらサポートすることの必要性を感じた。

オーバードーズ、エナジードリンクなどのカフェイン、スマートフォン・ゲーム依存など子どもたちのおかれる状況は目まぐるしく変化している。子どもたちを護るために私たち薬剤師ができるることは多く、日々情報をアップデートしていくことの重要性を考えさせられるシンポジウムだった。



シンポジストを務めた

薬業連合会

「神農御尊像図」一幅拝受

去る10月20日、波上宮本殿で斎行された薬祖祭において、「神農御尊像図」書幅が掲げられていた。薬祖祭閉式のあと、波上宮の大山晋吾宮司より、「この掛軸は、群馬県伊勢崎市の古書店で購入し家宝としていましたが、神農の眼光があまりにも鋭いこと、作者が絵師の中島来章で傑作とも称すべき作品であることから、薬祖祭に掲げお祭りを執り行わせていただきました。請い願はくは、この書幅を沖縄県薬剤師会館の神殿に掲げていただき、毎年斎行の薬祖祭にお持ちいただきて“なんみん”の拝殿に掲げていただければ大変有難く、ここに謹みて奉獻申し上げる次第です。」とのお言葉があり、同日、目録として神農卷物1箱が沖縄県薬業連合会に寄贈された。

そして、11月11日、神農卷物1箱の奉獻の儀が波上宮本殿にて執り行われ、薬祖祭で掲げられていた「神農御尊像図」書幅と保管用の木箱を拝納した。拝納した「神農御尊像図」書幅は、平素は沖縄県薬剤師会館にて木箱に保管しているが、薬祖祭が斎行される薬と健康の週間（毎年10月17日から23日）を含む10月中は沖縄県薬剤師会館の神殿に掲げることになっているので、ぜひ、ご観覧いただきたい。

（文：沖縄県薬剤師会事務局 大城喜仁）



中島来章筆『神農』

神農（しんのう）、炎帝神農（えんていしんのう）は、古代中国の伝承に登場する三皇五帝の一人。人々に医療と農耕の術を教えたという。神農大帝と尊称されていて、医薬と農業を司る神とされている。作品中の神農の表情、誠に迫力があり、眼光は真に迫り、数多の絵師が神農図を描く中、本作は、実に傑出した白眉の一枚。

絵師の中島来章〔寛政八年（一七九六年）生～明治四年（一八七一年）歿〕は、幕末から明治時代にかけて活躍した丸山派の絵師。丸山応挙の長男である丸山応瑞に学び、のちに名を成して平安四名家の一人と呼ばれた。弟子には後に帝室技芸員となった川端玉章等がいる。

誌上ギャラリー（裏表紙）に「神農御尊像図」のカラー写真を掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

災害対策

沖縄県災害薬事コーディネーター
令和7年度 技能維持・スキルアップ研修会

日時：令和7年10月26日（日）10:00～17:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<次第>

1 開会のあいさつ

2 会長あいさつ

3 演習

4 閉会のあいさつ

司会：災害対策委員会 副委員長 鈴鹿玲子
沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課 薬務専門監 中村章弘
沖縄県薬剤師会 会長 前濱朋子
講師：福岡大学薬学部 教授 江川孝
講師：福岡大学薬学部 助教 牛尾聰一郎
講師：兵庫医科大学 危機管理医学講座 特任助教 渡邊暁洋
アドバイザー：沖縄赤十字病院 医師 佐々木秀章
ファシリテーター：ハートライフ病院 医師 三戸正人
ファシリテーター：沖縄県立中部病院 医師 木全俊介
ファシリテーター：大浜第一病院 医師 萩池昌信
災害対策委員会 委員長 知念大輔

2025年10月26日に沖縄県薬剤師会館ホールにて災害薬事コーディネーター技能維持・スキルアップ研修会が行われました。講師に福岡大学薬学部の江川孝教授、牛尾聰一郎助教、兵庫医科大学の渡邊暁洋特任助教。アドバイザーに沖縄赤十字病院医師の佐々木秀章先生。ファシリテーターにハートライフ病院医師の三戸正人先生、沖縄県立中部病院医師の木全俊介先生、大浜第一病院医師の萩池昌信先生。

研修会は、グループを4つに分けて行い、私のグループは、薬局薬剤師4名、病院薬剤師1名、行政薬剤師1名の計6名の薬剤師にファシリテーターの三戸先生がついてくださいました。



災害薬事コーディネーター技能維持・スキルアップ研修会

ふく薬局
西坂 順



午前中は座学で、過去に受講した研修内容の復習でしたが、1つ目の各関係団体のマグネットシールを用い組織図を作成するという課題から躊躇ってしまいました。日常業務では全く使わない知識ということもあり、完全に忘れていました。災害薬事コーディネーターを拝命している以上、知識の常時アップデートが必要である、と再認識させられました。



講師：福岡大学薬学部 江川 孝 教授

午後は他の関連団体と連携し、災害対策を支援するシミュレーションを行いました。今まで何回か同じような研修を受けたことがあり、大丈夫だろうと思っていました。今まで受けた研修では関連団体から医薬品調達の要望が上がるのを待ち、それに対処する研修（いわば指示待ち）でしたが、今回の研修では、被災状況はどうか？避難所・病院・薬局・卸問屋の稼働状況は？等の確認を自分から関連団体に連絡して行う必要があり、その対策を考えなければならないという主体的に行動する内容で、より高度な活動が求められました。

具体的には、避難所から鎮痛剤を届けるように要望があったが、どの薬品が？規格・剤

形は？数量は？問屋は稼働しているのか？そもそも薬を届けたとして処方する医師はいるのか？調剤する薬剤師はいるのか？鎮痛剤1つ届けるのにこれだけのことを考えなければならない上に、同時多発的に複数のことが起つたらどうなるのか？

災害は起こって欲しくない、しかしその訓練は常にしておかなければならることを再認識させられる研修でした。

今回、ご協力いただいた講師、アドバイザー、ファシリテーターの先生方、そして同じグループで研修会に参加した薬剤師の先生方、ありがとうございました。そして、今後ともよろしくお願ひ致します。



お知らせ

保険薬局におけるBCP（業務継続計画）の策定について

保険薬局が感染症や自然災害等が発生した場合であっても、患者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう、①新型インフルエンザ等発生時における業務継続計画、②災害時の薬局業務継続計画等を作成いたしました。

本会ホームページに掲載されておりますので、各保険薬局の状態に応じてご作成ください。
災害対策委員会

【掲載先】沖縄県薬剤師会ホームページ > 会員ページ > 災害対策関連

学術研修

令和7年度第1回沖縄県薬剤師研修協議会主催講演会 心エコー図から考える心不全ステージを踏まえた高血圧治療

日時：令和7年10月28日（火）19:30～21:00

会場：沖縄県薬剤師会館・Web

講師：楠瀬賢也氏

（琉球大学大学院 医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座 教授）

循環器領域の臨床と研究の双方でご活躍中の楠瀬賢也教授を講師にお招きし、心不全・高血圧の薬物療法に関する研修会を開催しました。楠瀬先生は循環器医療にAI技術を応用する研究の第一人者として知られており、臨床的知見を踏まえた実践的な解説と最先端の技術を見据えた展望を併せて示されました。臨床と研究の両面から多くの学びが得られる有意義な講演内容でした。

ご講演では、2025年に改訂された心不全診療ガイドラインおよび高血圧治療ガイドラインの要点をご紹介いただきました。特に、心不全のステージ分類に基づく治療方針の考え方については、心エコー図所見を具体例とともにわかりやすくご解説いただきました。また、心不全管理において重要なバイオマーカーであるNT-proBNPにも言及がありました。近年では処方箋に検査値が記載される機会が増え、薬局薬剤師にとっても身近な指標となっているNT-proBNPについて、その値の評価方法や推移の読み取り方を臨床的視点からご説明いただき、臨床現場での実践にすぐに活かせる内容でした。

さらに、SGLT 2阻害薬が心不全治療において重要な位置を占めるに至った経緯やその有用性についてもご説明いただきました。SGLT 2阻害薬の使用に際しては、脱水や尿路感染症、ケトアシドーシスなどの副作用のモニタ

学術研修委員会
神矢 佑輔



リングや、併用薬との相互作用管理など服薬指導において薬剤師が留意すべき点が多いことが指摘され、こうした説明から薬剤師が果たす役割の大きさを改めて実感しました。

また、先生のご専門とされるAIを活用した心疾患診断や画像解析の最新研究動向についてもご紹介いただき、今後の医療における技術の進歩を実感できる内容でした。薬学の分野でも創薬、薬物動態予測、副作用予測といった領域で機械学習やディープラーニングが広く活用されています。近年では生成AIが身近な存在となり、日常業務の効率化にも用いられています。最先端の技術を活かしつつも、人の視点で医療に向き合う姿勢を大切にしたいと改めて感じました。

今回、心不全・高血圧治療の最前線に直接触れる機会を得て、薬剤師として継続して学び続けることの大切さを実感しました。講演で得た知見を日常業務に還元し、地域医療の質の向上に今後も努めていきたいと思います。



講師 楠瀬 賢也氏



あいさつ
前瀬朋子会長



座長
中村克徳副会長



司会
内田太郎学術研修委員会委員



お知らせ

Facebookをご覧下さい！



一般社団法人
沖縄県薬剤師会

@okinawaopa

ホーム

投稿

写真

ページ情報

いいね！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawaopa>

在宅医療推進

令和7年度 訪問薬剤管理指導推進事業在宅訪問薬剤師座学研修会 在宅薬剤師の臨床推論スキルを磨く：想定外の瞬間に備え ～患者宅での判断力を鍛えるワークショップ～

日時：令和7年10月5日（日）10:00～13:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

10月5日に開催されました「在宅薬剤師の臨床推論スキルを磨く」研修会に参加し、大変有意義な学びを得ました。

本研修は、たのはたラボ代表の医師、北原佑介先生を講師にお迎えし、グループディスカッションを通した実践的な症例検討が行われました。

『臨床推論の流れを体系的に理解』

研修では、まず非常に限られた情報を元にグループ内で意見を出し合い、考えられる可能性を幅広く列挙する作業からスタートしました。段階的に情報が開示され、当初列挙した仮説の中から疾患を推測し、絞り込んでいくというプロセスを体験しました。

この一連のワークを通じて、臨床推論の体

和ごころ薬局 あかみち店
市岡 伶央名



系的な流れを実践し、学ぶことができました。それは、「問題・主訴」の特定から始まり、その原因を考察し、必要な情報を収集することで解決策を考え、行動に移すという流れです。特に重要な点として、原因を考察する段階で「緊急性の高い」可能性を第一に考え、その情報を収集し、速やかに「排除」していくことの重要性を強く認識しました。これは、刻一刻と変化する在宅の現場において、患者様の安全を守る上で不可欠な視点です。



講師
たのはたラボ
北原 佑介 氏



『固定概念からの脱却と新しい価値の創造』

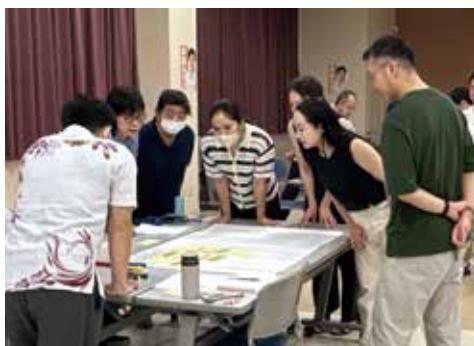
このワークを通じて得られた知見の中でも、特に示唆に富んでいたのは、思考の進め方そのものです。最初は、自分一人で思いついたことを「抽象」的な段階で恥ずかしがらずに全て列举し、その後、グループの方々と意見を出し合い、ディスカッションを通じて「具体」的な推論へと収束させていくという流れは、非常に参考になりました。

普段、我々薬剤師は外来や在宅での聞き取りにおいて、「薬剤師として」という固定概念に捉われ、つい薬の副作用や服薬状況から原因を追求しがちです。しかし、この研修で学んだように、まずは“患者様の状態”から具体的な主訴を丁寧に聞き出すことによっ

て、普段は見過ごしがちな真の原因に気づくことができるようになるのではないかという気付きを得ました。

また、グループワークを通じて症例を検討することで、解決策に多様性が生まれることも実感できました。自分一人では考えつかなかつた原因や解決策も、他者の多角的な意見を聞くことによって新しい価値として取り込むことができるのです。

今回の研修で学んだ臨床推論のプロセスと多角的な視点を持つことの重要性を、今後の在宅業務、ひいては日常の対人業務全てに活かし、より質の高い医療提供に貢献していきたいと考えております。



臨床推論のワーク



グループワークの様子

実務実習

認定実務実習指導薬剤師向けコミュニケーション研修会 ～指導薬剤師としての「心技体」～

日時：令和7年6月30日（月）19：30～21：00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

講師：嶋田 亮（サスティナブルアカデミー・一般社団法人ひとらば 代表）

6月30日にサスティナブルアカデミー代表の嶋田氏を講師にお迎えしてコミュニケーションの研修が行われました。

事前に行動特性を理解しやすくするためにdマト（ディシジョンマトリクス）理論の視点から、自分がどのタイプに当てはまるかを確認しました。dマト理論とは自分の行動をどのように決定しているかを「決断までの時間」と「決断の理由」の2つの軸でタイプを分類したものです。

自分と相手のタイプを知ることでそれぞれの「ふつうの枠」や「納得の仕方」が違うことが分かります。また、できるスピードも人によって異なるため、指導するときの対応やフィードバックの仕方も相手に合わせて変えていくことも大切です。

研修中のロールプレイで、自分とは真逆のタイプの学生を演じることで感じ方、考え方が全く異なることが実感でき、自分とのギャップがとても新鮮で面白かったです。

みさと虹薬局
具志堅 咲



学生だけでなく、職場の人のタイプも分類すると、より円滑に仕事ができるようになるのではと思いました。一度だけでは身につかないため、今回の研修の成果が出るように繰り返しロールプレイをしてスキルを身に着けていきたいと思います。



講師：嶋田 亮氏

お知らせ

地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！

ぜひ“おきなわ薬剤師会報”へ地区薬剤師会、部会の活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

実務実習

第90回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ
(薬学教育者ワークショップ) in九州・熊本

日程：令和6年9月15日（日）～16日（月）

会場：熊本県薬剤師会館

<参加報告1>

第90回「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップin九州・熊本」に参加させて頂きましたので、報告致します。

このワークショップは熊本県薬剤師会館にて、令和6年9月15日から16日の2日間に亘って行われ、約10名の薬剤師が1グループとなり、そのグループで2日間、指定された課題にスマートグループディスカッション形式で取り組むというものでした。

1日目の課題は、「薬学教育の問題点」、「学習成果基盤型教育において求められる学習目標とは」、「パフォーマンスを測る教育評価とは」でした。

まず、課題に入る前に「コンセンサスゲーム」が行われました。このゲームは、航空機が砂漠に不時着した場面において、生存のために必要とされる12個の道具に優先順位をつけるというものでした。

議論開始前に、議論を円滑に進める為の「司会者」「記録係」「発表者」を決めます。その後、各個人の考えに基づいて優先順位をつけ、さらにグループ内で優先順位について議論をし、意見をまとめ、グループ毎に発表するという流れでした。この進行方法が、ワークショップの各課題の基本的な流れになります。

「薬学教育の問題点とは？」という課題では、KJ法という手法を使い、各個人の意見をカードに記載し、それらを集め、まとめ、分類する事で問題点を俯瞰し、多角的に分析するという事を行いました。

日頃、参加者が思っている職場の課題を出发点に薬学教育の問題点を見つけるアプローチが行われましたが、この時に参加者同士、

ハープ薬局 つかざん店
大城 研



職場で抱えている共通の悩みがわかることで議論を通してアイスブレイクができたと思います。

「学習成果基盤型教育において求められる学習目標とは？」という課題では、薬学生に求められる能力とその能力を獲得するために何を学習目標とするかについて討論し、続く、「パフォーマンスを測る教育評価とは」の課題では、前の課題で設定した学習目標に対する、その評価方法について議論を行ないました。

2日目では、問題解決の為の手段について考えるという課題でした。

1日目の課題「薬学教育の問題点」について、グループ内でまとめた意見をさらに2次元展開法という手法を用いて分析し、最優先に解決すべき課題の選定とその対応策について議論が行われました。

2日間のワークショップを通して、現在の薬学教育はアウトカム、つまり具体的な結果や客観的にもわかる教育成果が強く求められていると理解しました。

薬局・病院・大学に勤める異なるバックグラウンドの薬剤師の方々と2日間に亘り、教育課題について議論をするということは一見ハードルが高いように思えますが、課題設定や進行方法に工夫があり、楽しく充実感のある2日間でした。

このワークショップで学んだことを、今後受け持つ薬学生の指導に活かしていきたいと思います。

<参加報告2>

令和6年9月15日、16日に行われたワークショップに参加致しました。新型コロナの流行以降、久々の対面でのワークショップでした。当日に沖縄に台風が来るかもしれないということで、急遽、直接の熊本入りでなく、前日に福岡で宿泊しての熊本入りとなりました。色々と調整していただいた皆様に感謝いたします。

九州各地から60名以上の参加者が集まり、それを6グループに分けて3グループ1組、計2組に分けて学習をしていきました。進め方は、グループの中で発表者、司会者、記録係を決め、セッションごとに交代しながらグループで討論し、意見をまとめて発表していきます。発表内容に関して他のグループから質問をしていき、議論を深めていきます。

最近はコロナの影響でオンラインでのグループワークだったようですが、このような討論や意見交換をオンラインでやるのは難しかったのではないかと感じました。現地で実際に対面参加でき、とても良かったです。

最初に、砂漠で遭難したときにどうするか?という一見、教育とは関係なさそうなセッションからの開始でした。与えられた情報から必要なものの優先順位を考えていくという課題です。各自考えて優先順位を決めていくのですが、人によっての考え方の違い、その考えに至った経緯など様々で、自分では考えつかなかった点や思考があり、それを討論することでお互いの理解を深め、より良い結論を導いていくというものでした。また、コミュニケーションを取り易い課題だったので、お互いとの関係構築にとても役立ちました。とても良いグループに恵まれて休憩時間

ミドリ薬局 美里店
橋本 正嗣



には沢山の情報交換ができ、その後LINEグループを作るなど新しい交流を増やすこともできました。

その後は、学習成果基盤型教育について学習していきました。実習生にどのような能力が必要かを設定していき、それぞれに対する学習成果(アウトカム)を定義し、そのアウトカムから具体的なパフォーマンス・学習目標を設定し、そのパフォーマンスを発揮できるように導いていくという流れです。この教育だと学習者が何のために学習しているのか、どのような行動が必要なのかを理解でき、教育者も達成状況が把握し易くなります。

このアウトカムの設定の仕方、そのアウトカムを達成するためのパフォーマンスの設定も、グループで討論しながら設定の手順などを学んでいきました。

その後、パフォーマンスを測る教育評価も学んでいきました。主にループリック評価を用いてのパフォーマンスの評価方法で、アウトカムの達成状況をお互いが理解できるように設定していきました。どの課題も個人ではなくグループで討論することにより、座学ではなく実践に近い学びがありました。長いと思われた2日間でしたが、とても充実した、あっという間の2日間となりました。今回のワークショップ参加で学んだことを、今後の仕事や実習生の指導に役立てていきたいと思います。

<参加報告3>

2日間のワークショップでの要点となりますが記載させて頂きます。

[1日目]

最初に、砂漠で遭難した時どの持ち物を優先して欲しいかという課題があり、グループに分かれ優先順位を決定しました。多数決ではなく議論で行うように話があり、最終的な決定までかなり時間がかかりました。

次に、KJ法を学び実践しました。薬学教育の問題点を挙げメモに記載し、そのメモをまとまり（島）にしてその呼称を付けました。島同士を矢印などでつなぎ、島の関係性を模造紙にまとめ関連性を視覚化しました。

次に、学習成果基盤型教育（目標・評価・方略）について学びました。タクシードライバーを例に、薬物療法の実践・地域包括ケアシステムへの参画・医療倫理に基づいた行動の3グループに分かれ目標作成を行いました。到達されているであろう能力を学習成果（アウトカム）で定義し、実践するための学習目標（具体的なパフォーマンス）を設定しました。その学習目標についてレベルを設定し、Does（本物の様にできる）、Shows how（安全に試してみる）、knows how（深く理解する・解決できる）、knows（知っている）で評価を行いましたが、Doesの評価をループリック（評価の観点と基準を文章であらわした表）を作成し、経過も評価しました。

[2日目]

昨日のループリックから学習目標のレベル



すこやか薬局 牧港店
安田 泰行

に合わせた方略（効率的効果的に目標を達成するための計画や方法）を人的資源・物的資源・時期・時間といった所まで詳しく話し合いました。

次に、経験学習のサイクル（経験・省察・学び・試行）の4段階を習い、実習生役と指導薬剤師側に分かれロールプレイを行いました。その後、学習者の考えを聞く、学習者が述べる根拠を聴く、一般論を示す、出来たことを強化する、誤りを正す、さらなる学習を勧めるという1分間指導法について講義を受け実践しました。また、優位自称分（SEA）を習い、問題の抽出と解決法を勉強しました。

次に、1日目で行ったKJ法で作成した模造紙を二次元展開方で優先順位をつけ、グループ毎に発表を行いました。

最後に、天草地域医療センターの谷口医師による医学教育の講義を受けました。医師の医学教育を薬学教育に活かしている歴史の話と、これから薬学教育の話の講義を受けました。

今回、ワークショップを受講しましたが、短い期間であったため理解できなかった部分もありました。しかしながら、文章にすることで改めて理解することが出来ました。

スポーツ
ファーマシスト

第79回国民スポーツ大会
～アンチ・ドーピング活動の課題と今後～

去る令和7年9月27日（土）から9月30日（火）の期間、滋賀県で開催された「第79回国民スポーツ大会」（会期：9月28日（日）～10月8日（水））に、沖縄県選手団役員として参加いたしました。

沖縄県から公認スポーツファーマシスト（以下、S P）が大会役員として参加するのは、第67回大会以来、実に13年ぶりのことであり、この貴重な機会を賜りました関係者各位に心より感謝申し上げます。

＜滋賀県薬剤師会に学ぶ、

アンチ・ドーピング啓発活動の取組み＞

大会参加の目的の一つは、9年後の本県開催に向けたアンチ・ドーピング活動状況の情報収集であり、ホスト県である滋賀県薬剤師会のアンチ・ドーピングブース視察は大きな収穫となりました。総合開会式に先立ちブースを訪問し、これまでの準備と活動の規模について滋賀県薬剤師会の岸本仁文薬事情報センター長からお話を伺うことができました。

滋賀県薬剤師会は、本大会に向けて毎年継続的な研修会、特別委員会の設置、地域医師会など多職種連携を深める講演といった、組織的な土台作りを実施されてきました。競技団体ごとの担当 S P配置といった組織体制は、今後の沖縄県での体制構築に向け、大変参考となるものでした。

本大会では、国スポ・障スポを通じて合計15会場でブースを出展、アスリートおくすり手帳などの啓発資材の配布やクイズなどが実施されていました。特に、大会前のメディカルチェックにおいては、S Pがドクターと協力し、チェックアプリで問診、使用薬やサプリメントのドーピング判定結果の入力を担うなど、S Pの専門性が深く実務に組み込まれている点は、沖縄県でも参考にすべき活動だと考えられます。

薬事情報センター
センター長 吉田 典子



＜総合開会式と応援活動＞

9月28日の総合開会式は、彦根城を望む平和堂HATOスタジアムで開催されました。青空の下、沖縄県選手団・役員36名が参加し、全国の選手団の熱気を感じる素晴らしい式典でした。特に、滋賀県民の皆様がブルーのタオルを掲げて温かい声援を送ってくださる光景は、会場を大いに盛り上げてくれました。

翌29日は、レスリングや剣道といった競技の応援活動に参加し、沖縄県選手団の一員として声援を送りました。



お話を伺った滋賀県薬剤師会の
岸本仁文 薬事情報センター長と

滋賀県薬剤師会 ブースの様子



＜沖縄県の課題と今後の活動＞

今回の視察は、沖縄県におけるS P活動の現状を改めて見つめ直す機会となりました。滋賀県薬剤師会と沖縄県薬剤師会を比較すると、会員数などは比較的近い水準にあるものの、「公認S Pの数」においては、滋賀県237名に対し、沖縄県は102名（会員は65名）と大きな開きがあります。これは、本県におけるアンチ・ドーピング活動の体制強化の具体的な課題です。今回の国民スポーツ大会への参加は、県薬剤師会がアンチ・ドーピング啓発活動を改めて推進し、強化に取り組む重要性を認識する契機となりました。

沖縄県スポーツ協会が毎年主催する大会前の3回の競技監督向け講習会へは、県薬S Pを講師として派遣していますが、これらの啓発活動は選手団及び関係者の意識向上に繋がっているのだと信じています。当県でも今後より多くの薬剤師がS Pの資格を取得し、地域スポーツや競技団体との連携を深め、県スポーツ界を薬事の面から支えられる体制を目指していきたいと考えています。

この報告が、会員の皆様にS P活動への関心を持つきっかけとなれば幸いです。今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



月例相談会

第201回健康とおくすり相談会

日時：令和7年8月31日（日）10:00～13:00

会場：サンエー那覇メインプレイス

担当：那覇地区薬剤師会

そよ風薬局 松川店
有銘 未香



サンエー那覇メインプレイス3階駐車場出入口にて、那覇地区薬剤師会が主催する「健康とおくすり相談会」に初めて参加させていただきました。

相談会には、幅広い年齢層の方が興味津々で参加していました。ブース内には、血圧計と骨密度測定機が備えられており、検査方法を学ぶ事ができました。

実際の測定結果をもとに、アドバイスを行いました。相談者からの質問で多かったのが、「運動が苦手で、簡単にできる方法」や、「どういった食事を摂ったらよいか」でした。簡単にできる運動として、「かかと落とし」（つま先立ちの姿勢から踵をストンと落とすだけ）が骨に刺激を与え、骨密度をあげることができると紹介しました。食事に関しては、カルシウム、ビタミンD、ビタミンK、タンパク質など、骨の形成に役立つ栄養素を積極的に摂り、特にタンパク質の摂取量が少ないと、

骨密度低下を助長するので、意識して摂取するようにと説明しました。若い女性は、ダイエットを気にして、不規則な食事をしている方がいると感じました。そういう方には、バランスの良い食事、運動、睡眠も大切であると説明しました。

今回の相談者は、健康意識が高く、病気の予防や治療につながっていると感じました。今回参加していなかった健康意識の低い方がもう少し参加できたら、沖縄県の健康・長寿維持につながると思いました。

最後に、本イベントに参加し、周りの相談員の先生方からのアドバイスの助けもあり、ある程度適切なアドバイスができたかと思いました。

参加された相談員の先生方、スタッフの皆様、ありがとうございました。



健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

○吉田 洋史 ○盛本 直也 ○長田 ゆかり

○有銘 未香 ○山路 美和 相談員5名

相談者数：53名

薬事情報おきなわ No. 287

2025年11・12月号 : Vol. 40 No. 4

薬事情報センター TEL : 098-963-8931
FAX : 098-963-8937

薬価基準追補収載品目

●新医薬品 2025年10月22日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内用薬	ポルズィ錠2.5mg (T1)	2.5mg1錠	47.80	大正製薬	ポルノレキサン:オレキシン受容体拮抗薬/不眠症治療薬(不眠症)(新有効成分含有医薬品)
	ポルズィ錠5mg (T2)	5mg1錠	71.30		
	ポルズィ錠10mg (T3)	10mg1錠	106.40		
注射薬	マグミット錠100mg (マグミット100)	100mg1錠	12.70	マグミット製薬	酸化マグネシウム:制酸・緩下剤(下記疾患における制酸作用と症状の改善(胃・十二指腸潰瘍、胃炎(急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む)、上部消化管機能異常(神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む) / 便秘症/尿路磷酸カルシウム結石の発生予防))(新用医薬品、剤形追加に係る医薬品(再審査期間中でないもの))
外用薬	ヨビパス皮下注168μgペン	168μg0.56mL 1キット	571,509	帝人ファーマ	パロペグテリパラチド:副甲状腺機能低下症治療剤(副甲状腺機能低下症)(新有効成分含有医薬品)
	ヨビパス皮下注294μgペン	294μg0.98mL 1キット	584,139		
	ヨビパス皮下注420μgペン	420μg1.4mL 1キット	596,310		
外用薬	スピジア点鼻液5mg	5mg0.1mL1瓶	8,336.50	アキュリス ファーマ	ジアゼバム:抗けいれん剤(てんかん重積状態)(新投与経路医薬品)
	スピジア点鼻液7.5mg	7.5mg0.1mL1瓶	9,337.60		
	スピジア点鼻液10mg	10mg0.1mL1瓶	10,120.00		
	セタネオ点眼液0.002%	0.002%1mL	800.00	参天製薬	セペタプロスト:二環式プロスタグランジン誘導体/緑内障・高眼圧症治療剤(緑内障、高眼圧症)(新有効成分含有医薬品)
	バイジュベック [®] ゲル	2瓶1組	2,955,232.70	Krystal Biotech Japan	ペレマゲン ゲペルバベク:ウイルスベクター製品(栄養障害型表皮水疱症)(再生医療等製品)

●新医薬品 2025年11月12日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内用薬	ドレミカムシロップ2mg/mL	0.2%1mL	1,117.80	丸石製薬	ミダゾラム:催眠鎮静剤(麻酔前投薬)(新投与経路医薬品)
	ナルティーグOD錠75mg ([▲])	75mg1錠	2,923.20		リメガベント硫酸塩:経口 CGRP 受容体拮抗薬(片頭痛発作の急性期治療及び発症抑制)(新有効成分含有医薬品)
	ネクセトール錠180mg (ES180)	180mg1錠	371.50		ベムベド酸:ATPクエン酸リーゼ阻害剤(高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症)(新有効成分含有医薬品)
	ビルベイ顆粒200 μ g	200 μ g1個	29,705.10	IPSEN	オデビキシバット:回腸胆汁酸トランスポーター阻害剤(進行性家族性肝内胆汁うつ滞症に伴ううそう痒)(新有効成分含有医薬品)
	ビルベイ顆粒600 μ g	600 μ g1個	89,114.70		
	フジケン粒状錠125	125mg1包	22,043.00	藤本製薬	ケノデオキシコール酸:脳膜黄色腫症治療剤(脳膜黄色腫症)(新効能医薬品、新用医薬品、剤形追加に係る医薬品(再審査期間中でないもの))

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内用薬	イブトロジーカプセル200mg (TAL200)	200mg1カプセル	9,711.20	日本化薬	タレトレクチニブアジピン酸塩:抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤(ROS1融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌)(新有効成分含有医薬品)
	ヘルネクシオス錠60mg (@L6)	60mg1錠	13,881.90	日本ベーリンガーアインヘルハイム	ゾングルチニブ:抗悪性腫瘍剤/HER2阻害剤(がん化学療法後に増悪したHER2(ERBB2)遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌)(新有効成分含有医薬品)
	ゾフルーザ顆粒2%分包	2%500mg1包	1,666.20	塩野義製薬	パロキサビル マルボキシル:抗インフルエンザウイルス剤(ゾフルーザ錠 20mg, ゾフルーザ顆粒 2%分包)A型又はB型インフルエンザウイルス感染症の治療及びその予防(ゾフルーザ錠 10mg)A型又はB型インフルエンザウイルス感染症)(新用量医薬品)
注射薬	アイザベイ硝子体内注射液 20mg/mL	2mg0.1mL1瓶	142,522	アステラス製薬	アバシンカブタド ペゴルナトリウム:眼科用補体第5成分阻害薬/ポリエチレングリコール共役 RNA アブタマー(萎縮型加齢黄斑変性における地図状萎縮の進行抑制)(新有効成分含有医薬品)
	ブルヴィクト [®] 静注	7.4GBq1瓶	3,389,878	ノバルティス フィーマ	ルテチウムビビボチドテトラキセタン(¹⁷⁷ Lu):放射性医薬品・抗悪性腫瘍剤(PSMA陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌)(新有効成分含有医薬品)
	ガリアファーム ⁶⁸ Ge/ ⁶⁸ Ga ジエネレータ	1患者当たり	315,161	ノバルティス フィーマ	ガリウム(⁶⁸ Ga)ジエネレータ:放射性医薬品(陽電子放出断層撮影(PET)イメージングのために承認された被標識用製剤のガリウム(⁶⁸ Ga)標識)(新有効成分含有医薬品)
	ガリアファーム溶出用 0.1mol/L塩酸溶液	1mL	152		
	アイマービ一点滴静注 300mg	300mg1.62mL1 瓶	491,823	ヤンセン フィーマ	ニポカリマブ(遺伝子組換え):抗FcRnモノクローナル抗体製剤(全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る))新有効成分含有医薬品)
	アイマービ一点滴静注 1200mg	1,200mg6.5mL1 瓶	1,967,29		
	ロカメツキット	1回分	185,947	ノバルティス フィーマ	ガリウム(⁶⁸ Ga)ゴゼトチド:PSMA放射性リガンド診断薬(PSMA標的療法の前立腺癌患者への適応判定の補助)(新有効成分含有医薬品)
外用薬	ネフィー点鼻液1mg	1mg0.1mL1瓶	22,975.30	アルフレッサ フィーマ	アドレナリン:アナフィラキシー補助治療剤(蜂毒、食物及び薬物等に起因するアナフィラキシー反応に対する補助治療(アナフィラキシーの既往のある人またはアナフィラキシーを発現する危険性の高い人に限る)(新投与経路医薬品)
	ネフィー点鼻液2mg	2mg0.1mL1瓶	24,672.10		
	ワイキヤンス外用液0.71%	0.71%0.45mL1管	14,995.60	鳥居薬品	カンタリジン:ウイルス性疣瘡治療剤(伝染性軟属腫)(新有効成分含有医薬品)

●報告品目・新キット製品 2025年11月12日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内用薬	オータイロカプセル160mg (REP160)	160mg1カプセル	12,477.10	ブリストル・ マイヤーズ スクイブ	レボトレクチニブ:抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤(ROS1融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌/NTRK融合遺伝子陽性の進行・再発の固形癌)(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	コセルゴ顆粒5mg (sel5)	5mg1個	8,113.90		セルメチニブ硫酸塩:神経線維腫症1型治療剤(MEK阻害剤)(神経線維腫症1型における叢状神経線維腫)(新用量医薬品、剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	コセルゴ顆粒7.5mg (sel7.5)	7.5mg1個	11,975.90	アレクシオ ンファーマ	
	レットヴィモ錠40mg (Ret40/5340)	40mg1錠	4,066.20	日本イーラ イリリー	セルペルカチニブ:抗悪性腫瘍剤 RET)受容体型チロシンキナーゼ阻害剤(RET融合遺伝子陽性の進行・再発の固形腫瘍/RET遺伝子変異陽性の根治切除不能な甲状腺髓様癌)(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	レットヴィモ錠80mg (Ret80/6082)	80mg1錠	7,717.40		

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
注射薬	スピンラザ 髄注28mg	28mg5mL1瓶	9,661,483.00	バイオジーン・ジャパン 富士製薬工業 ノボ・ノルディスク 協和キリン アステラス 武田薬品工業 サノフィ セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン アルジェニクス ユーシービー・ジャパン	ヌシネルセンナトリウム:脊髄性筋萎縮症治療剤(脊髄性筋萎縮症)(新用量医薬品、剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	スピンラザ 髄注50mg	50mg5mL1瓶	9,778,481.00		
	アブリベルセプトBS硝子体内注射液40mg/mL「NIT」	2mg0.05mL1瓶	79,738		アブリベルセプト(遺伝子組換え):眼科用VEGF阻害剤(網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫/病的近視における脈絡膜新生血管/糖尿病黄斑浮腫)(バイオ後続品)
	アブリベルセプトBS硝子体内注射用キット40mg/mL「NIT」	2mg0.05mL1筒	69,894		
	アヴィクリ注フレックスタッチ 総量700単位	700単位1キット	3,809		インスリン イコデク(遺伝子組換え):週1回持効型溶解インスリンアナログ注射液(インスリン療法が適応となる糖尿病)(新有効成分含有医薬品)
	クリースピータ皮下注10mgシリンジ	10mg0.33mL1筒	305,043		プロスマブ(遺伝子組換え):ヒト型抗FGF23モノクローナル抗体(FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症)(新キット製品)
	クリースピータ皮下注20mgシリンジ	20mg0.67mL1筒	608,836		
	クリースピータ皮下注30mgシリンジ	30mg1mL1筒	912,366		
	ルミセフ皮下注210mgペン	210mg1.5mL 1キット	74,972		プロダルマブ(遺伝子組換え):ヒト型抗ヒトIL-17受容体モノクローナル抗体製剤(既存治療で効果不十分な下記疾患(尋常性乾癬、乾癬性関節炎、膿瘍性乾癬、乾癬性紅皮症、強直性脊椎炎、X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎、掌蹠膿疱症))(新キット製品)
	ビロイ点滴静注用300mg	300mg1瓶	183,554		ゾルベツキシマブ(遺伝子組換え):抗悪性腫瘍剤/抗CLDN18.2モノクローナル抗体(CLDN18.2陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌)(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
点滴静注用	タクザイロ皮下注300mgペン	300mg2mL 1キット	1,288,729	武田薬品工業	ラナデルマブ(遺伝子組換え):遺伝性血管性浮腫発作抑制用 血漿カリクリエン阻害剤/完全ヒト型抗ヒト血漿カリクリエンモノクローナル抗体(遺伝性血管性浮腫の急性発作の発症抑制)(新キット製品)
	デュピクセント皮下注200mgペン	200mg1.14mL 1キット	39,706	サノフィ	デュピルマブ(遺伝子組換え):ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体(既存治療で効果不十分な下記皮膚疾患、アトピー性皮膚炎/特発性の慢性蕁麻疹)(剤形追加に係る医薬品(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	トリズマブBS点滴静注80mg 「CT」	80mg4mL1瓶	6,687	セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン	トリズマブ(遺伝子組換え):ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体(既存治療で効果不十分な下記疾患(関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)、多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎、全身型若年性特発性関節炎/キャッスルマン病に伴う諸症状及び検査所見((C反応性タンパク高値、フィブリノーゲン高値、赤血球沈降速度亢進、ヘモグロビン低値、アルブミン低値、全身倦怠感)の改善。ただし、リンパ節の摘除が適応とならない患者に限る。))/悪性腫瘍治療に伴うサイトカイン放出症候群)(バイオ後続品)
	トリズマブBS点滴静注200mg 「CT」	200mg10mL 1瓶	16,717		
	トリズマブBS点滴静注400mg 「CT」	400mg20mL 1瓶	33,434		
点滴静注用	ヒデュラ配合皮下注シリンジ	5mL1筒	665,026	アルジェニクス ユーシービー・ジャパン	エガルチギモド・アルファ(遺伝子組換え)・ボルヒア・ルロニダーゼ・アルファ(遺伝子組換え):抗FcRn抗体フランメント・ヒアルロン酸分解酵素配合製剤(全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る)/慢性炎症性脱髓性多発根神経炎)(新医療用配合剤)
	リスティーゴ皮下注420mg	420mg3mL1瓶	534,588	ユーシービー・ジャパン	ロザリキシズマブ(遺伝子組換え):抗FcRnモノクローナル抗体製剤(全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る))(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))

* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。



Medical News

●アセトアミノフェン服用に不安あおる事案受け薬局での対応訴え（薬局新聞10月8日）

日本保険薬局協会（NPhA）は米国が「妊娠中のアセトアミノフェン服用が子どもの自閉症発症リスクを高める可能性がある」と発表し、広く報道されたことを受け、会員薬局や所属薬剤師に向け科学的根拠に基づく正確な情報提供を呼びかける通達を行った。内容は『正確な情報の把握と共有』、『患者や地域住民への適切な情報提供』、『かかりつけ医との連携』の3点で、具体的な窓口対応では専門機関の見解を伝え自己判断で服用を中止しないよう指導し、心配があればかかりつけ医師・薬剤師に相談することが大切である旨を丁寧に説明するよう訴えている。

●厚労科研～薬剤師介入で歯科受診率増-口腔健康サポートに効果（薬事日報10月20日）

健康サポート薬局の薬剤師が地域住民の口腔の健康サポートを半年にわたって実施することで歯科受診率が上がり、オーラルフレイル（口腔機能の低下）でない者の割合が増加することが、2024年度厚生労働科学研究で明らかになった。24年度は研修を修了した39人に参加してもらい、27薬局の来局者のうち同意を取得した314人を無作為に介入群と非介入群に分け、口腔の健康状態に関する調査とパンフレット配布を行い、介入群には口腔の健康サポートを行った。

●指定濫用防止薬の販売規定など新制度対応が大詰めに（薬局新聞10月24日）

厚生労働省が改正薬機法の施行に伴う省令に関するパブリックコメントを開始したことを受け、OTC薬販売の主流を担うDgs業界を代表して指定濫用防止薬販売のガイドライン策定を進める日本チェーンドラッグストア協会は、定例会見で「ほぼガイドラインは完成しており、パブコメを踏まえて省令が出た後に発する」との見通しを示した。

●昭和医大調査～市販薬過剰摂取6割が継続-生きていく上で必要（薬事日報10月29日）

昭和医科大学大学院薬学研究科社会薬学分野の岸本教授らの調査で、市販薬のオーバードーズ（OD）経験者の約6割が止めずにODを続けていることが分かった。「生きていく上で必要なもの」との考え方方が強く関連していた。岸本氏は、OD継続者に対して一律的に医薬品を取り上げるのではなく、「害の低減を目指す“ハイムリダクション”の考えを取り入れた対応が必要」と話している。5月にウェブ調査を実施、数万人規模の調査対象から過去3年内にODを1回以上経験した18～59歳の男女を抽出し、257人から回答を得た。

●中医協-医療用506品目を薬価削除-経過措置期間には苦言も（薬事日報10月31日）

中央社会保険医療協議会は29日の総会で、医療用医薬

品のうち506品目を薬価基準から削除することで了承した。経過措置期間は来年3月末までとなる。薬価削除する506品目は、昨年12月から今年9月までに製造販売業者から薬価削除願が提出されたもの。薬価削除後も同一成分の他の医薬品が存在するのが468品目、残りの38品目については薬価削除により成分単位で削除されるものだが、他成分での代替薬が存在するなどの理由により関係学会から薬価削除の了承が得られたものとなる。

●厚労省～緊急避妊薬販売で解釈-産婦人科医と連携体制（薬事日報11月4日）

厚生労働省は10月28日、緊急避妊薬を販売する薬局と近隣の産婦人科医等との連携体制構築に関する通知を発出した。所在する地域の都道府県薬剤師会と都道府県医師会との間で予め合意されている場合には所在する都道府県薬で管理し、都道府県医へ共有される「緊急避妊薬販売薬局等名簿」に掲載されている状態を「連携体制とができる」と定めた。緊急避妊薬「ノルレボ」は20日、初の特定要指導医薬品として承認された。販売する薬局・薬剤師には、研修を受けた薬剤師が販売し、近隣の産婦人科医と連携体制を構築することなどが求められている。

●文科省薬学部調査-退学率2割台-ストレート合格率横ばい（薬事日報11月5日）

文部科学省は10月31日、6年制薬学部における2025年度の退学率等に関する調査結果を公表した。5回目となる今回の調査では、19年度に6年制薬学部に入学した人の退学者の割合を公表した。私立大57校の退学率は千葉科学大の39.3%が最も高く、姫路獨協大33.3%、北陸大33.1%、日本薬科大32.4%と3割台は4校、前年度調査から1校減だった。

●地域支援体制加算要件の「OTC薬48薬効群配備」の実効性疑問視（薬局新聞11月12日）

日本保険薬局協会（NPhA）は地域支援体制加算の要件となっているOTC薬48薬効群の配備に対し、薬局における実態と見直し案を示唆することを目的に行った調査結果を通じ、「実効性の乏しい『48薬効群一律備蓄』から『地域ニーズや薬剤師の専門的知見に基づき推奨する品目の備蓄』という、より柔軟で実効性の高い仕組みへの転換」を訴えた。

●高市首相「薬局にも措置必要」-補助金活用の処遇改善（薬事日報11月17日）

高市早苗首相は12日の参議院予算委員会で、補助金による医療機関等の経営・職員の処遇改善について「薬局も合わせて必要な措置を講じる必要がある」と述べ、薬局を対象とする政府の考えを初めて示した。本田顯子議員（自民党）に対する答弁。政府は診療報酬・介護報酬改定のタイミングを待たずに補助金で経営・職員の処遇改善を図る方針を示しているが、薬局・薬剤師が対象範囲に含まれるかは明言していなかった。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

調剤

2025年
No.9
事例2

自己注射の手技の確認不足



事例

【事例の詳細】

薬剤師は30歳代の患者から、使用中のランタスXR注ソロスターのカートリッジ内に浮遊物があることを聴取した。患者が持参した薬剤を見せてもらうと、カートリッジ内に浮遊物が確認できたため現品を預かり、製造販売業者に調査を依頼した。調査の結果、浮遊物は血液で、注射時に患者の血液が逆流していたことが判明した。患者に調査結果を伝えて手技を確認したところ、患者が注射後、皮膚から注射針を抜く前に注入ボタンから手を離していたことがわかった。薬剤師は、注入ボタンを押したまま注射針を皮膚から抜くように改めて説明した。

【背景・要因】

患者は以前よりランタスXR注ソロスターを使用していたため、薬剤師は患者が自己注射の手技を理解していると思い込み、交付時に基本手技の確認を行っていなかった。

【薬局から報告された改善策】

自己注射薬を長期間使用している患者にも、定期的に手技を確認する。



その他の情報

インスリン製剤の調剤にあたっての留意事項及び薬剤交付時の説明事項（使用方法、保管等）に関する解説*（平成23年5月改訂）（一部抜粋）

III. 患者指導のポイント

8) 注入時の注意事項

注入後：

インスリンを確実に注入するために、注入後は、5～10秒以上注入ボタンを押したまま保持した後、注入ボタンを押したまま針を抜きます。針を抜く途中で注入ボタンから指を離すと、血液がカートリッジ内に逆流する恐れがありますので、針を抜くまで注入ボタンは押したままにします。

*日本薬剤師会



事例のポイント

- 患者は、自己注射を長期間使用しているうちに注射時の注意事項を忘れたり、手技を自己流に簡略化したりする可能性がある。薬剤師は、患者が薬剤の注射方法や管理方法を理解し正しく使用できているかを定期的に確認し、薬剤服用歴に記録を残して薬剤師間で共有する必要がある。
- 本事業に報告された自己注射薬に関する事例には、血液の混入の他に、注入時に薬液が出ない、注入ボタンを押すと重く感じるなどの患者からの申し出に薬剤師が対処した事例がある。
- 自己注射薬に不具合や異常が生じた場合は、患者が誤った方法で薬剤を使用・管理している可能性がある。使用時に何か異常を感じた場合は速やかに医師や薬剤師に相談するよう、患者にあらかじめ伝えておく必要がある。薬剤師は、適切な薬物治療が安全に継続できるように支援することが重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

*この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくなるため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

2025年
No.9
事例3

疑義照会・処方医への情報提供

病態禁忌



事例

【事例の詳細】

普段は他の薬局を利用している30歳代の女性患者に、医療機関Aからドンペリドン錠10mg「JG」が処方された。薬剤師は、患者からの聴取およびお薬手帳の確認により、患者が医療機関Bでプロラクチン分泌性の下垂体腫瘍の治療中であることを把握した。ドンペリドン錠10mgはプロラクチン分泌性の下垂体腫瘍の患者に禁忌であるため、処方医に疑義照会を行ったところ、メトクロラミド錠5mg「トーワ」に変更となった。

【推定される要因】

ドンペリドン錠が禁忌となる病態について、医療機関Aの処方医による確認が漏れた可能性がある。

【薬局での取り組み】

患者からの聴取、薬剤服用歴やお薬手帳の確認などにより、現病歴・既往歴・併用薬などの情報を収集し、処方内容が適切であるか検討する。患者にお薬手帳の有用性を説明して活用を促す。



その他の情報



事例のポイント

- プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍（プロラクチノーマ）は、乳汁分泌作用のあるホルモンであるプロラクチンが過剰に産生される下垂体腫瘍である。本事業には、プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍（プロラクチノーマ）の患者に禁忌であるドンペリドンやスルピリドが処方されたため、処方医に疑義照会を行った事例が2020年4月1日～2025年6月30日に16件報告されている。報告された薬剤は、ドンペリドンが13件、スルピリドが3件であった。
- 患者は、自身の現病歴を正確に記憶していない場合や、把握していても、医療機関で医師に伝えない場合がある。薬剤師は、患者に情報共有の重要性を伝え、お薬手帳に現病歴・既往歴・副作用歴などを記載して、医療機関や薬局で毎回提示するよう説明する必要がある。
- 安全で有効な薬物治療を行うため、薬剤師は現病歴・既往歴や併用薬、副作用歴などの情報を患者から収集し、それらの情報を考慮したうえで処方内容の妥当性や服用中の薬剤による副作用発現の可能性を検討することが重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0281 (直通) FAX: 03-5217-0253 (直通)
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

2025年
No.11
事例3

疑義照会・処方医への情報提供

禁忌



事例

【事例の詳細】

薬剤師が医師の訪問診療に同行した際、90歳代の患者の家族から、帯状疱疹ワクチンの患者への接種希望があった。医師が生ワクチンの乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」と組換えワクチンのシングリックス筋注用について患者の家族に説明を行い、どちらを選択するか希望を尋ねた。薬剤師は、患者が関節リウマチの治療のためブレドニゾロンを長期間内服していることを把握していたため、生ワクチンは患者に禁忌であることを医師に情報提供した。その結果、患者にシングリックス筋注用を接種することになった。

【推定される要因】

医師は、患者がブレドニゾロンを服用していることを失念していたと思われる。

【薬局での取り組み】

薬局内で今回の事例を共有した。患者がワクチン接種を受けるという情報を入手した際は、接種するワクチンを聴取し、懸念事項がある場合は医師に情報提供する。



その他の情報

乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」の添付文書 2025年4月改訂（第5版）（一部抜粋）

2.接種不適当者（予防接種を受けることが適当でない者）

＜帯状疱疹の予防＞

2.6 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者

10.相互作用

10.1 併用禁忌（併用しないこと）

＜帯状疱疹の予防＞

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
副腎皮質ステロイド剤 ブレドニゾロン等 (注射剤、経口剤)	播種性の症状を呈するなどワクチンウイルスの感染を増強させるおそれがある。	免疫機能抑制下にあるため、ワクチンウイルスの感染を増強あるいは持続させる可能性がある。



事例のポイント

●本事例は、訪問診療に同行した薬剤師が医師に情報提供を行い、禁忌となるワクチンの接種を防止した好事例である。在宅医療の現場では、薬剤などの情報がすぐに入手しにくい環境下にあることから、薬剤師が同行し、医師に情報提供を行うことは有用である。

●免疫不全・免疫機能低下者に生ワクチンを接種するとワクチンウイルスの感染を増強あるいは持続させる可能性があるため、免疫抑制作用のある副腎皮質ステロイド薬や抗リウマチ薬、抗悪性腫瘍薬による治療を受けている患者は、生ワクチンの接種が受けられないことに注意する必要がある。

●2025年度から予防接種法が一部改正され、65歳の者などが帯状疱疹ワクチンの定期接種の対象となった^{*}。定期接種対象の年齢に近い患者が免疫抑制作用のある薬剤を服用している場合は、帯状疱疹ワクチンを接種する際の注意点を予め説明し、服用している薬剤を医師に伝えることの重要性について理解を促しておくことが望ましい。

^{*}厚生労働省 予防接種・ワクチン情報 帯状疱疹ワクチン



公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0281 (直通) FAX: 03-5217-0253 (直通)
<https://www.yakkoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より特集および文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

- ◇ medicina 62巻10号 (増大号)
*深堀り！エッセンシャル漢方 1対1対応の一歩先へ
- ◇ medicina 62巻11号
*循環器診療 それ、ホント？
- ◇エキスパートナース 41巻10月号
*検査値-based assessment、他疾患共存（マルチモビティ）患者ケアの実践ガイド
- ◇エキスパートナース 41巻11月号
*感染症に備えよう、看護に必要な知識の総復習
- ◇エキスパートナース 41巻12月号
*高齢者の排泄障害 院内急変予防
- ◇きょうの健康 10月号
*高血圧、乳がん、血液検査の見方
- ◇きょうの健康 11月号
*不整脈、胆のう、胆管の病気、更年期障害
- ◇月刊薬事 67巻13号
*患者ニーズに応える薬のカタチをひもとく 知つて
るつもりの製剤ナレッジ
- ◇月刊薬事 67巻14号 (臨増)
*緩和ケア薬 ケースファイル
- ◇月刊薬事 67巻15号
*骨粗鬆症治療のEvidence Update
- ◇産科と婦人科 92巻9号
*もう「不定愁訴」なんて言わない！ - 他科に学ぶ更
年期外来診療のポイント -
- ◇産科と婦人科 92巻10号
*もっと知りたい！妊婦の栄養・食事の疑問点
- ◇産科と婦人科 92巻11号
*HPV検査単独法の子宮頸がん検診ってなに？ - 理解・
準備・社会実装まで -
- ◇総合診療 35巻11号
*シモジモの悩み
- ◇調剤と情報 31巻13号
*“おいしい”を守る How to 味覚障害
- ◇調剤と情報 31巻14号
*0からの肥満症note
- ◇治療 107巻11号
*【第1特集】小児のワクチン虎の巻 【第2特集】軽
度認知障害疑いの方を支える
- ◇治療 107巻12号
*【第1特集】プライマリ・ケア整形外来 OSCE 【第2
特集】ブッダに学ぶ生老病死 - 臨床と仏教 -
- ◇日経ドラッグインフォメーション 336号

- *薬局調剤機器・システム大調査 満足度が高いのは？
- ◇日経ドラッグインフォメーション 337号
*使用率9割に到達 後発品推進の現在地
- ◇日本医事新報 5288号
*高齢者のうつ病診療＜認知症・せん妄との鑑別と薬
物治療を中心に＞
- ◇日本医事新報 5290号
*保存的腎臓療法 (CKM) の考え方と実際の運用～「透
析をしない・やめる」と言わされたら
- ◇日本医事新報 5293号
*ワクチンキャッチャップ接種 スケジュールの考え方
- ◇日本医事新報 5296号
*抗菌薬いつやめる？適切な投与期間の考え方
- ◇日本医事新報 5297号
*骨粗鬆症薬物治療 up-to-date <ガイドライン 2025
年版を踏まえて>
- ◇日本医事新報 5280号
*プライマリ・ケア医が診る HfpEF 診療
- ◇日本医事新報 5299号
*ふるえの鑑別診断手順ガイド
- ◇薬局 76巻11号
*薬剤師のためのいちばんやさしい輸液管理の本
- ◇薬局 76巻12号
*超入門！Empiric Therapy
- ◇薬局 76巻13号
*報酬が語る「薬剤師のしごと」

【今月の論文等】

■薬物療法■

- えびさんぽ (46) 気道感染症に抗菌薬は効果があり
ますか？
治療 107 (11) p.6, 114
- 小児緩和ケアの現状と薬剤の使い方
月刊薬事 67 (14) p.153
- LDLのコントロールはスタチンだけで用が足りるとい
うのはホント？PCSK9阻害薬・ベムペド酸の役割は？
Medicina62 (12) p.2019
- 心不全にジャディアンスが追加処方された理由を聞
かれたら
日経ドラッグインフォメーション (336) p. 019
- 冬の眠気や食欲増進に処方されたセルトラリン
日経ドラッグインフォメーション (337) p.PE035
- 慢性痛に対するオピオイド鎮痛薬の休薬・減量の注
意点やコツは？

日本医事新報 (5290) p.52

- ▶ GLP-1 受容体作動薬 ,GIP/GLP-1 受容体作動薬の適応外使用について
調剤と情報 31 (14) p.50
- ▶ 医師が語る 処方箋の裏側～百日咳疑いの患者に葛根湯加川芎辛夷を処方した理由
日経ド ラッグ インフォメーション (336) p.PE027
- ▶ " 立効散を飲み込まず口をすぐ指示を出す理由
日経ド ラッグ インフォメーション (337) p.PE007
- ▶ ルーティン処方 Do 処方 異常なし？ それってあたり前？ [8] 血管新生阻害薬による高血圧・蛋白尿への降圧薬の選択 -ACE 阻害薬 /ARB は常に第一選択？
月刊薬事 67 (13) p.135
- ▶ " [9] 腎移植後患者にクラリスロマイシンが処方 - 免疫抑制薬はそのまま継続？
月刊薬事 67 (15) p.131

■新薬■

- ▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬なまめ読み [60] ゼボジア®カプセル (オザニモド塩酸塩)
月刊薬事 67 (13) p.172
- ▶ " [61] カムザイオス®カプセル (マバカムテン)
月刊薬事 67 (15) p.167

■安全性情報■

- ▶骨粗鬆症治療薬による薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ)
月刊薬事 67 (15) p.74
- ▶レクサプロが体に合わなかった患者
日経ド ラッグ インフォメーション (336) p.PE035
- ▶注射薬に変更になったメトトレキサート
日経ド ラッグ インフォメーション (337) p.PE039
- ▶医薬品適正使用・育葉フラッシュニュース
・逆流性食道炎のリスクとなる医薬品は?
・NSAIDs + PPI併用で下部消化管出血のリスクが上昇？
薬局 76 (12) p.98
- ▶医薬品適正使用・育葉フラッシュニュース
・乾癬の生物学的製剤での真菌感染症リスクの違い
・BZ 薬の漸減を伝えないほうが中止の成功率が高い
薬局 76 (13) p.86
- ▶構造式で語る医学 | 薬物の交差反応や意外な副作用を学ぼう！ 10
核酸 (プリン塩基) に似た構造の医薬品
総合診療 35 (10) p.1198
- ▶ " 11 アデノシンに関連する薬剤
総合診療 35 (11) p.1328

- ▶ふるえの鑑別診断手順ガイド～2 薬剤性振戻について
日本医事新報 (5299) p.14
- ▶薬剤による味覚障害
調剤と情報 31 (13) p.31

■薬剤師業務■

- ▶処方監査と疑義照会 輸液の配合変化
薬局 76 (11) p.170
- ▶「骨粗鬆症リエゾンサービス」(OLS) と二次性骨折予防における薬剤師の役割は？

月刊薬事 67 (15) p.26

- ▶誰でもデキる臨床研究 リアルワールドデータで学会発表、論文執筆 [18] (完) エピローグ：薬剤師の研究活動がもたらす未来と業務改善への応用
月刊薬事 67 (13) p.123
- ▶ガイドラインではわからない患者・家族の大切なもののための 緩和ケア薬の使い方 [13]
がん患者のつらさに薬剤師は何かできる？
月刊薬事 67 (13) p.178

- ▶ " [14] がん薬物療法後の「医療用麻薬の効きすぎ？」に注意
月刊薬事 67 (15) p.145
- ▶薬局症例カンファレンス 胃瘻造設の高齢うつ病患者、どう対応する？
日経ド ラッグ インフォメーション (337) p.PE016
- ▶薬局で実践する生活指導
調剤と情報 31 (14) p.34
- ▶調剤後のフォローアップ-対人業務強化のカギとなる継続支援
薬局 76 (13) p.71

■漢方療法■

- ▶漢方薬の食前・食間服用は必須か
日経ド ラッグ インフォメーション (336) p.PE037
- ▶ぐっとよくなる！ 漢方処方快訣ビフォーアフター〈第22回〉過敏症の漢方 治療患者によって変わる薬効の“軽重”
薬局 76 (12) p.116
- ▶ " 〈第23回〉胃腸虚弱の治療を再考する 「温める・補う」ではなく「調える」
薬局 76 (13) p.100
- ▶妊娠中や授乳中でも飲める漢方薬は？
Medicina62 (11) p.1770
- ▶小児の漢方薬の飲み方は？
Medicina62 (11) p.1782
- ▶注意すべき生薬 甘草
Medicina62 (11) p.1852

■在宅医療■

- ▶患者背景・生活スタイルによりそう剤形 在宅医療を受けている患者への注意点
月刊薬事 67 (13) p.95
- ▶在宅医療の実践 本人でも自宅での看取りを希望しても、退院できない場合
日本医事新報 (5299) p.34

■その他■

- ▶電子処方箋・オンライン服薬指導－医療 DX のなかで進化する業務スタイル
薬局 76 (13) p.66
- ▶えびさんぽ (47) 金銭的なインセンティブで健康状態は改善しますか？
治療 107 (12) p.6, 112
- ▶COVID-19 による味覚障害の特徴と薬局での対応
調剤と情報 31 (13) p.58



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

[質問]4年前に家族が認知症と診断され、今はメマンチン錠（10mg）を服用中です。MRIでは変化はないと言われています。今年1月に転倒してから、急に症状が進んでいる気がします。いつも側にいる人がわからなくなったり、直前の会話を忘れてしまったりと、以前よりも明らかに理解力が落ちています。もっとよく効くお薬はないでしょうか？

[回答]転倒や入院などをきっかけに、一時的または継続的に認知機能が急激に低下することは、認知症をお持ちの方には比較的多く見られることがあります。服用中のメマンチンは、アルツハイマー型認知症の症状の進行を遅らせるために使われるお薬ですが、効果の現れ方や病気の進行速度は人によって様々です。まずは、主治医に現在の様子について相談してみてください。お薬の量を増やしたり、別のタイプのお薬を組み合わせたりといった治療を検討して下さるかもしれません。

[質問]子供の件。先週咳のためお薬が出ました。ワイドシリンにアレルギーがあるのでクラリスロマイシンを処方されました。1回飲んだ後蕁麻疹が出て中止しました。昨日、今度はケフラールが処方されたのですが、蕁麻疹が心配です。今下痢の症状もありますが、飲ませても大丈夫でしょうか？

[回答]ワイドシリン、クラリスロマイシン、ケフラールはいずれも細菌を抑える抗生物質ですが、お薬の種類がそれなりに異なります。ただし、アレルギーのあるワイドシリンと今回処方されたケフラールは、薬の構造が似ているため、ごくまれにアレルギー反応が出る可能性が指摘されています。服用される場合は、すぐに医療機関へ連絡が取れる診療時間内に飲ませ、しばらくの間、注意して様子を見るようにしてください。万が一、呼吸困難や全身の蕁麻疹などが現れた場合には、すぐに服用を中止し、医療機関を受診してください。また、抗生物質は腸内細菌のバランスを崩し、下痢の副作用を起こしやすいことが知られています。ケフラールを飲み始めて下痢がひどくなったりした場合は、改めて医療機関にご相談ください。

[質問]蓄膿症でセフカペンピボキシルを飲んでいます。ですが、水疱瘡が出たのでアシクロビルも処方されました。抗生物質を一度に2種類飲むのは問題ないのでしょうか？

[回答]新しく処方されたアシクロビルは、セフカペンピボキシルとは、作用が異なるお薬です。アシクロビルは抗生物質ではなく、水疱瘡の原因ウイルスの増殖を抑えるための抗ウイルス薬です。一方、セフカペンピボキシルは、蓄膿症の原因となる細菌を殺し、症状

を治すための抗生物質です。このように、効き目のある病原体の種類が異なりますので、お薬の種類が重複していることはありません。それぞれの病気の治療に必要なお薬ですので、医師の指示通りに併用して飲んでいただいて問題ありません。

[質問]子供の目の目の下が赤くなっていて朝は目脂も多かった。病院に行くほどではないと思うのですが、まずは、私のジクアス点眼液やヒアルロン酸Na点眼液を使ってもいいでしょうか。目がごろごろしている時に使っています。

[回答]ご自身に処方されたお薬を、お子様に使用することは絶対に避けてください。ジクアス点眼液やヒアルロン酸Na点眼液は、大人の方の目の症状に合わせて処方されており、小児を対象とした安全性試験は行われておりません。予期せぬ副作用が出る可能性が否定できません。お子様の目の赤みや目脂は、細菌やウイルスによる感染症やアレルギーなど、様々な原因が考えられます。早めに眼科などの医療機関を受診するようにしてください。

●安全性情報●

[質問]心不全でエンレストを服用している家族について。最近、フォシーガ（SGLT2阻害薬）を飲み始めたところ、体重が1ヶ月で500gずつ減ってきています。心不全の検査値のBNPも943pg/mLと異常に高いです。体重減少はフォシーガの副作用でしょうか？また、BNP値はどう考えればよいでしょうか？

[回答]フォシーガは、元々は糖尿病の治療薬として開発されました。現在では心不全の治療薬としても非常に重要な役割を果たすお薬です。ご質問の体重減少については、フォシーガの作用の一部と考えられます。その影響である場合、以下の理由が考えられます。
1. 糖の排出：血中の糖を尿と一緒に体外へ排出します。これにより、摂取したカロリーの一部が体外に出ていくため、体重減少につながります。
2. 水分の排出：心不全に対するフォシーガの心保護作用の一部は、尿量を増やし体内の余分な水分を排出することで、むくみを改善することによるものです。これも体重減少の一因となります。

また、BNP（脳性ナトリウム利尿ペプチド）は心臓に負担がかかり続けたときに高くなる指標です。943 pg/mLという値は、心臓に強い負担がかかっている状態を示しています。体重減少が治療目的なのか副作用か、BNPの異常値や今後の対応も含め、早めに主治医にご相談ください。

[質問]大腸の検査を予定しています。当日、現在服用



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

中のタンドスピロンというお薬を飲んでもいいのか教えてください。

[回答] タンドスピロンは、不安や緊張を和らげるお薬ですが、大腸の検査自体への影響はほとんどないと考えられています。しかしながら、大腸検査では鎮静剤などを使用することがあります。これらのお薬との飲み合わせには注意が必要な場合があります。念のため、当日の服用については必ず、検査を受けられる病院の医師や薬剤師に直接ご確認ください。

[質問] クロザピンやリスペリドン、ロドピン、ランドセンなどを服用しています。これらの薬の服用と飲酒は一緒にしないほうがいいですか？

[回答] 現在服用されているお薬とアルコールを一緒に飲むことは、絶対に避けてください。アルコールと同時に飲むと、お互いの作用が影響し合い、お薬の効き目が予想以上に強く出てしまうことがあります。強い眠気や意識がぼんやりするといった症状が現れたり、立ちくらみやふらつきにより、転倒や事故につながる危険性が高くなります。お薬は必ず水や白湯で服用し、服用期間中は飲酒を控えてください。

[質問] オルメテック40mgを服用中ですが、少し前から顔の浮腫みなどが出ています。お薬の事を調べて、不安になりました。これは薬の副作用でしょうか？主治医からは「あまり気にするな」と言われました。以前はアムロジンで、歯肉肥厚の副作用が出たので、オルメテックに20mgに変わり、2か月ほど前に40mgに增量になりました。この症状が出たのは1カ月ほど前からだと思います。

[回答] オルメテックは、まれに顔の浮腫みの副作用が報告されています。症状が出始めた時期がオルメテック增量後と重なるため、薬との関連も否定できません。もし、浮腫みが強くなるだけでなく、口唇、舌や喉の腫れ、呼吸が苦しいなどの症状が出た場合は、すぐに服用を中止し、医療機関を受診してください。主治医が一時的なものと判断された可能性もありますが、浮腫みの症状について主治医とよく話し合ってみてください。

[質問] グレープフルーツと飲み合わせの悪いお薬がありますが、タンカンはどうでしょうか？

[回答] グレープフルーツが薬物と相互作用を起こすのは、果皮や果肉に含まれるフラノクマリン類という成分が、体の中で薬を分解する酵素の働きを邪魔するためです。これにより薬が分解されずに体内に長く留まり、効果が強く出すぎたり、思わぬ副作用につながることがあります。タンカンはグレープフルーツとは異

なる品種で、相互作用のリスクは非常に低いと考えられています。しかし、交配種であるため、微量のフラノクマリンが含まれている可能性は否定できません。安全性を優先し、タンカンの摂取は控えていただくことをお勧めします。

[質問] 昨日クリニックで帯状疱疹ワクチン（シングリックス）を打ちました。その後から37.2°Cの発熱があり、今日も37.6°Cの熱が続いています。これはワクチンの影響でしょうか？熱が下がらないときには、家にあるカロナール500を飲んでも大丈夫でしょうか？

[回答] 発熱は、シングリックスなどワクチンの接種後によく見られる副反応の一つです。シングリックスを接種された方のうち、発熱の副反応は10%以上の方に報告されています。こうした副反応は接種の翌日をピークに現れることが多く、通常は数日以内に回復していきます。発熱や痛みに対し、カロナールを服用されることは問題ありません。ただし、服用前に必ず使用期限や保管状態をご確認ください。発熱が3日以上続く場合や、接種部位以外の症状が出た場合には、医療機関を受診してください。

参考：帯状疱疹の予防接種についての説明書（厚生労働省2025.2作成）

[質問] 西洋薬と漢方薬を一緒に服用しても問題ないでしょうか？

[回答] 西洋薬と漢方薬の併用は一般的に可能ですが、注意が必要な場合があります。例えば、葛根湯に含まれる「麻黄」と、一部の西洋薬の咳止めに含まれる「エフェドリン」など、名前が違っていても、重複する成分があることに注意が必要です。自己判断で併用せず、必ず医師や薬剤師にご相談ください。

●その他の質問●

[質問] 4年前に肺に影があると指摘されましたが、現在も病院には通院せず、高価なアロエとゴーヤーのサプリメントを飲んで自己管理しています。アロエの抗がん作用や副作用について、教えてください。

[回答] アロエは古くから慢性胃炎や火傷などに用いられてきましたが、ご質問の抗がん作用について、アロエ自体ががんの治療に役立つという科学的な裏付けは現時点では確立されていません。特定の成分の研究は動物実験などを中心に行われています。以前指摘された肺の影については、ご自身の命を守るためにも、自己判断せずにすぐに信頼できる医師に診てもらい、治療について相談されることを強くお勧めします。

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

漢方薬の副作用について、 どの程度ケアすればいいの？

medicina 11号(増大号)

漢方薬の副作用は、軽度の症状から入院を要する程度の症状までさまざまである。漢方薬には構成生薬が複数含まれており、構成生薬別に副作用を考えることが大切となる。漢方薬の副作用については、黄芩を含む漢方薬による間質性肺炎の発症頻度は0.27%、肝機能障害の発生頻度は1.0%というデータがある。ただし、漢方薬を処方する機会が増えれば、副作用に遭遇する確率も大きくなることは予想できる。一方、甘草については、漢方エキス製剤の70%以上に含まれ、添付文書上は甘草1日2.5g以上の内服で偽アルドステロン症のリスクがあるとされるが、甘草の量のほか、甘草を含む処方の長期内服、加齢と低体重で、リスクが高いとされている。注意すべき副作用のある主な生薬は、甘草、麻黄、黄芩、附子、地黄、大黄、山梔子などがある。甘草による偽アルドステロン症（特に低K血症）と、（主に黄芩による）肝機能障害については、自覚症状を伴わないことがある。漢方薬を内服継続している場合には、電解質（特に血中K濃度）と肝機能については定期的に調べておくことをお勧めしたい。

調布東山病院 総合診療科・内科
櫻尾 明彦

妊娠・胎児にとって注意すべき サプリメント、嗜好品は？

産科と婦人科 Vol.92 No.10

カフェインの摂取は少量～中等量であれば心身、胎児への影響はないと考えてよい。300～400mg/日以上の多量摂取を続けると流死産、低出生体重児が増加する可能性がある。妊娠中の喫煙は流死産、頸管無力症、早産、37週未満の前期破水、子宮外妊娠等の増加との関連が指摘されている。胎児に関しては、胎盤の血管を収縮させ、一酸化炭素が発生するため、胎児への酸素・栄養供給が阻害される等の理由で、児の出生体重が100～300g程度減少するとされている。サプリメントの摂取については、葉酸の場合、神経管閉鎖障害のリスク低減のため妊娠の1カ月以上前～妊娠3カ月まで追加で400μg/日をサプリメントで摂取することが勧められている。ビタミンAは妊娠初期の過剰摂取では頭蓋顔面異常、心血管系異常、中枢神経系異常等の胎児形態異常との関連が報告されている。ハーブティーは一般にカフェインを含有せず、妊娠中のコーヒーの代用品として語られることが多いが、ポリフェノールが豊富に含まれており、妊娠後期の多量摂取は動脈管早期閉鎖を起こす可能性が報告されている。

総合母子保健センター愛育病院
山下 隆博

妊娠・授乳中の薬物療法の鉄則

総合診療 10月号

○妊娠への処方～覚えておきたい原則

・ベースラインリスクの概念：流産、早産、先天異常の頻度は、それぞれ約15%、約6%、約2～3%とされている。つまり薬剤使用の有無にかかわらず、一定頻度で流産、早産、先天異常は発生するため、医薬品による影響を考える際には、このベースラインリスクと比較する。内服後に何かあった時に妊娠が自責の念にかられないよう、必ず意識したい。

・母体優先の概念：胎児の健康は母体の状態に依存する。つまり、母体に必要な医薬品は積極的な使用が必要である。胎児への影響を心配する患者には、悪影響だけではなく医薬品使用の有益性や必要性についても十分に説明し、自己判断での減量・中止を防ぐべきである。

○授乳婦への処方：母乳育児には、児と母の両方にメリットがあることが複数の研究で証明されている。「念のため授乳はやめておいてください」の一言は、メリットを手放せることにもつながる。多くの医薬品は授乳中も問題なく内服可能なことを認識し、安易に授乳中止を勧めないよう注意したい。

亀田ファミリークリニック館山
玉井 瑛・水谷 佳敬

貼付剤の貼付により生じる皮膚の問題と対策

薬局 11月号 Vol.76.No.13

乾燥皮膚は、皮膚の最外層にある角層が乾燥することで生じるものである。とくに冬場は湿度が低下するため、影響を最も受けやすい。乾燥した角層は、貼付剤を貼付しても十分な粘着性が発揮されず剥がれやすい。また乾燥皮膚はバリア機能が不十分なため、外界からの刺激を防御できず受け入れてしまいやすい。貼付剤を継続して使用するためには、保湿剤などのスキンケア製品の積極的使用が求められる。医療用医薬品のなかでは、高い保湿効果を有するヘパリン類似物質を使用して乾燥皮膚が改善するよう皮膚環境を整えておくと、貼付がしやすく、経皮吸収への影響が抑えられ効果に個人差が生じにくいと考えられる。筆者らによって行われた調査では、ヘパリン類似物質ローションを透析患者に使用したところ、角質剥離量が減少し、貼付剤の皮膚刺激性により痒みを誘発するリスクを低下させる傾向がみられた。また、保湿剤を使用後、2分程度が経過してから貼付剤を適用したところ、はがれる心配はなかった。これらは貼付剤の使用時における保湿剤による前処置の有益性を示すものと考えられる。

鈴鹿医療科学大学薬学部
大井 一弥

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】在宅医療 Q&A 令和7年版

【編著】日本薬剤師会/監 じほう/編【発行】じほう【発行日】2025年10月

【版型/頁】A5型/276頁 【定価】3,080円(税込) 【幹旋価格】2,750円(税込)

可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで。患者の思いに応える在宅医療を実現するために、薬剤師としてどう取り組めばよいのか、現場ではどのような点が問題となるのか。在宅医療における薬剤師の疑問に答える定番書籍。

在宅訪問のきっかけづくり、訪問準備から訪問後の報告、服薬支援、多職種連携、体調・薬のチェックなどのポイントや、緩和ケア、認知症の知識などをコンパクトにまとめた。令和7年版は「在宅訪問に取り組むにあたって」の章を新設。

★【日薬幹旋図書】妊娠・授乳と薬のガイドブック 第2版

【編著】愛知県薬剤師会 妊婦・授乳婦医薬品適正使用推進研究班

【発行】じほう 【発行日】2025年9月 【版型/頁】A5判/296頁

【定価】3,520円(税込) 【幹旋価格】3,080円(税込)

妊娠中・授乳中の患者は、薬に対して大きな不安を抱きがち。胎児・乳児への影響を恐れて薬の服用をやめてしまったり、薬の服用後に妊娠や授乳を継続してよいか悩んだり…。薬剤師が服薬の可否を適切に理解し、患者が必要な薬物治療と妊娠・授乳とを安全に両立できるようサポートすることは欠かせない。

さて、この「薬剤師による妊娠・授乳婦のサポート」において頼りになるのが本書である。頻用薬をケーススタディ形式で取り上げ、服薬の可否判断の考え方や根拠、現場でのアドバイス例をわかりやすく示した。さらに、妊娠・授乳の基礎知識や、適切な情報の調べ方・評価の仕方についても丁寧に解説。また、妊娠中・授乳中の患者からよくある相談を集めたQ&Aを多数掲載し、処方薬のほかOTC医薬品に関する相談にも対応できるようにした。

必要な内容がコンパクトにまとまっているので、服薬指導時や知識のアップデート、これから学ぼうとする方の最初のテキストとしてもお勧め。

なるほどなっとく！公衆衛生学

【編著】中村好一、春山早苗【発行】南山堂【発行日】2025年10月

【版型/頁】B5判/346頁 【定価】2,750円(税込)

国家試験に対応した基礎知識をしっかりと押さえながら、「健康」の視点から社会を読み解く力を育む公衆衛生学の教科書。

「なるほど」と理解が深まる解説、「なっとく」できる問い合わせが満載のコラム、さらにページ横の注釈には用語解説やこぼれ話を添え、初学者にもやさしい構成となっている。医療人として学び続ける力を考える力を養うための一冊。

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

- (1)医薬品情報の提供
- (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行
- (3)医薬品に関するお問い合わせ
- (4)消費者薬相談業務「おくすり相談室」
- (5)ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日 (月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しの場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL : 098-963-8931 FAX : 098-963-8937
沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

令和7年度 日薬 DEM 事業にご参加ください！
(令和8年2月実施)



日薬では、令和7年度もDEM(薬剤イベントモニタリング:Drug Event Monitoring)の事業を実施します。DEM事業は、薬局が医薬品の適正使用に一層貢献することを目的としていますが、合わせて薬局薬剤師の有用性を社会に示すものもあります。本年度も大きな成果を上げたいと考えておりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

前回同様、原則としてインターネットでの報告となります。

1.本研究の目的

調査対象医薬品に関する既知および未知のイベントの収集とそのイベントの評価を目的とする。

2.調査対象医薬品

◎対象薬(商品名)

トルリシティ皮下注、ジンタス錠、クービック錠、オメガ-3脂肪酸エチル粒状(ロトリガ粒状カプセル等)、オゼンピック皮下注、マンジャロ皮下注、ノベルジン錠・ノベルジン顆粒等、デエビゴ錠、ベルソムラ錠、パルモディア錠・パルモディアXR錠

3.報告期間

令和8年2月2日(月)～令和8年2月28日(土)

※令和8年1月に県薬ホームページの「会員の頁」にて詳細と報告画面を公開いたします。

試験検査センターからのお知らせ

1 騒音検査などの記入用紙が県薬ホームページからダウンロードできます

騒音検査や照度検査などで使用する記入用紙(調査票や点検票など)を下記の手順で県薬ホームページからダウンロードできます。

会員ページへログイン → カテゴリの中の「学薬部会」
→ ページ下部 「学校環境衛生調査報告用紙」

レアアース

ニュースでよく耳にするレアアース。半導体などに使われる希少なもの?ほどの認識ですが、実際私たちの身の回りでどのように使用されているのでしょうか。

1 レアアースとレアメタル

人類に有益な鉱物資源のうち、埋蔵量が希少もしくは製錬が困難な金属が「レアメタル」に分類され、経済産業省の区分で47元素ある。そのうち、「ランタノイド」元素15種に、スカンジウムとイットリウムを加えた17種の元素が「レアアース」と呼ばれている。レアアースは化学的性質が似ており同じ鉱石中に存在することが多いため、分離が難しいが、用途は多いため、現代社会で不可欠なものとなっている。

- ・主なレアアースの用途 Y (イットリウム) : 磁石
- La (ランタン) : 触媒 Pr (プロセオジム) : 光ファイバー
- Nd (ネオジム) : 磁性材料 Tb (テルビウム) : レーザー
- Lu (ルテチウム) : 陽電子検出器



2 レアアースと医療

レアアースは医療の場面でも使用されており、画像診断装置 (MRI や CT スキャンなど) の磁石や超音波検査装置などの医療機器に欠かせない。MRI の造影剤には、ガドリニウムが添加されているものもあり、鮮明な画像を得るために利用されている。

また、レアアース由来の化合物を用いた治療薬開発やレアアースを触媒とした化合物の合成など創薬への利用も期待されている。

3 レアアースと日本

レアアースの需要は高まるものの鉱物の分布は偏在しているため、日本はほとんどを輸入に頼っている。今後、南鳥島周辺で発見された「レアアース泥」の採掘により、環境などに配慮しながら、レアアースを供給できることが望まれている。

ひきつづき利用契約推進中！

会員のための検査センターをモットーに頑張っています。

※利用契約の詳細は、以下の連絡先に連絡下さい。

連絡先：試験検査センター 電話：098-963-8934 Mail : siken@okiyaku.or.jp

第72回 暮らしの中の薬草学 身近な薬草を知ろう

女性薬剤師部会
副部会長 狩俣 イソ



ガンの治療に、抗酸化作用のある野菜を大量に摂るわけにもいかず、摂ったからといって治るわけでもない。例えはいつも食べている野菜にイソチオシアネートなどを多く生産させる栽培技術の開発が出来たらいいなあ。

かいわれ大根

学名 *Raphanus sativus* var. *Longipinnatus*
科名 アブラナ科 *Brassicaceae*
属名 ダイコン属 *Raphanus*
使用部位 胚軸、子葉
有効成分 イソチオシアネート、メラトニン、アミノレブリン酸、ビタミンC・E・K



【かいわれ大根の名称・歴史】

属名はギリシャ語の *raphanos*（早く現れる）を語源にしている。和名は大根の発芽直後の双葉の形が二枚貝の開いた姿に似ていることから「貝割れ」と呼ばれるようになったそうで、昔は「貝割り菜」とも呼ばれていたこともある。古くは平安時代の貴族の高級食材とされていたとの記述もある。平安時代の『和名類聚鈔』（和名抄）の「菜羹類」で黄菜として記述されている。

【かいわれ大根の形態】

かいわれ大根は、アブラナ科の一年草で緑黄色野菜である。大根の発芽直後の胚軸と子葉を食用とするスプラウト食材である。発芽に伴う代謝の中で、種子のときには存在しなかった成分も新たに合成され、ビタミン、ミネラル、フィトケミカルなどが含まれる。

【かいわれ大根の成分】

かいわれ大根には、ビタミンCとE、βカロテンなどの抗酸化ビタミンが豊富に含まれる。

また胰液や唾液に含まれるデンプンの分解を促す消化酵素アミラーゼが含まれる。発がん物質を分解してがん予防の効果が期待でき

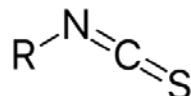
るオキシダーゼなどの酵素類も含まれる。

かいわれ大根特有のピリッとした辛みは、イソチオシアネート (ITC) によるもので、アブラナ科の野菜に含まれる。また睡眠ホルモンとも呼ばれるメラトニンが含まれている。焼酎粕や赤ワイン等の食品に含まれている、アミノレブリン酸 (ALA) も含まれている。

【アブラナ科野菜の摂取で死亡リスク低下】

多目的コホート研究においてアブラナ科野菜の摂取量が多いほど、男性喫煙者でタバコに含まれる発がん物質前駆体の活性化が抑制、女性で心疾患、脳血管疾患、外因による死亡リスクも減少した。またこれまでの疫学研究において、認知機能改善効果、抑うつ予防効果の報告があり、そのことが、事故死および自殺予防につながっている可能性も考えられる。

【イソチオシアネート】



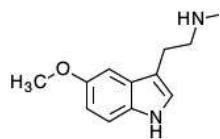
イソチオシアネート

ITCは種子に多く存在し、植物体内で糖と結合した前駆体として存在し、噛むなど組織を破壊することにより、胞内顆粒に含まれるミロシナーゼという酵素により分解されて生成される。最近の分子疫学研究から、尿中に排泄された ITC の代謝産物量と肺ガンや乳ガンなどのリスク低下との間に有意な相関が報告された。抗がん作用については、多くの報告がある。

乳がん細胞において、スルフォラファン (ITC の硫黄化合物の一種) が乳がん細胞の増殖を濃度依存的に抑制する。アリルイソチオシアネート (AITC) が膀胱がんの細胞に作用して、がん細胞にアポトーシスを誘導する。細胞分裂の抑制は、AITC がチューブリンタンパク質（真核生物の細胞内にあるタンパク

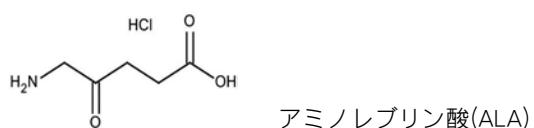
質で、細胞骨格の微小管を形成する主要な成分)のSH基に結合することに起因している。ITCは、**肝臓における異物代謝において、解毒作用を促進することにより間接的に抗がん作用を表す**。また、腫瘍が一定以上の大きさに増殖するためには、栄養や酸素を供給するための新たな血管網形成(血管新生)が不可欠でだが、この**血管新生を抑制することも判明している**。また二次的な腫瘍を形成する転移にも、これらのプロセスを阻害する作用も持つことが示されている。

【メラトニン】



メラトニンは脳内から分泌される眠りを誘うホルモンで、**体内時計を調節、睡眠の質や生体リズムを改善し、不眠症や時差ぼけなどを解消する**。抗酸化作用もあり、活性酸素の発生を抑制し、免疫力を高め、ガンの発生を防ぐ効果が期待されている。さらに、生殖細胞が活性化されて、ホルモンバランスも改善される。メラトニンの分泌量は年齢を重ねると減少する。

【アミノレブリン酸の効能効果】



糖尿病予備軍の人々を対象に行った実験では、ALAを摂取した被験者において、食事の2時間後にプラセボ群と比較して**血糖値の低下**が見られた。5-ALAの摂取が境界型糖尿病の人々に有用である可能性を指摘されている。

ALAは、生体のエネルギー工場であるミトコンドリア内でのエネルギーづくりをサポートしている。ラットによる試験で、ALAを食べさせることによって**内臓脂肪の量が減少し、脂肪の蓄積を抑える**ということが解った。こ

れは、代謝が良くなることで食べたものや体内溜まっていた脂肪が、効率よくエネルギーに変換されたためであると考えられる。また、代謝が良くなることで体を温める働きがあり、**免疫力の向上や疲労の改善などの効果**が期待できる。高齢のマウスにALAを与えると免疫機能が向上し、**造血機能も上昇した**。

ALAは化粧品にも配合されていて、水分や油分を保つ**保湿効果**が期待されており、肌の水分量や弾力アップするとされている。

【マルチビタミンB12含有かいわれ】

ビタミンB12は悪性貧血症に治療効果のある物質で、動脈硬化や神経障害などにも有効である。それは、人間の生存に必須な、炭素数が1つの化合物(C1)の代謝経路にB12が関与しているからである。この経路が、赤血球や神経細胞の分裂を正常に保つと考えられる。

動物性食品に含まれ植物には存在しないB12を、かいわれ大根に添加して生育した。すると、かいわれ大根にB12が多量に吸収され、可食部の茎、葉の部分に多く含まれていた。カイワレ大根には、C1代謝に必須のビタミンB6や葉酸をはじめ、食物繊維など野菜に含まれる成分が含まれる。アブラナ科植物に特有なグルコシノレートなどの抗酸化物質、生理活性物質のような有益な成分も含まれる。これにB12が含まれると、リノール酸ラジカル捕捉活性としての**より高い抗酸化活性**を示した。

電子レンジ、1分間程度の加熱では、熱に弱いビタミンCでも活性が余り減少しないし、水溶性ビタミンの損失が少ない。B12入りかいわれ大根の短時間の熱処理は、微生物学的定量でB12活性が増加する傾向も示しており、これらの結果から、電子レンジで30秒熱することは生食と同じに有用であると思われる。

[参考] GKZ植物事典、KKサラダコスモ、健康野菜ナビ、わかさの秘密、Arch-Medical、NEMURI Lab、FYSTE、JST、エコタイプ次世代植物工場、栄養と機能性、シクロケムバイオ、広島大学名誉教授 佐藤一精、国立がん研究センター

かいわれ大根芽生え、生 可食部100g当たり

第八訂日本食品標準成分表

エネルギー	タンパク質	炭水化物	食物繊維	リン	カルシウム	カリウム	亜鉛
21 kcal	2.1 g	3.3 g	1.9 g	61 mg	54 mg	99 mg	0.3 mg
マグネシウム	βカロテン当量	レチノール当量	ナイアシン当量	ビタミンK	ビタミンE	葉酸	ビタミンC
33 mg	1900 μg	160 μg	1.3 mg	200 μg	2.1 mg	96 μg	47 mg



「大学時代の思い出」

新垣紀子さんよりリレーのバトンを受け取りました。紀子さんは大学の先輩で、かれこれ〇十年、今では学校薬剤師部会でもお世話になってあります。はてさて何を書けばいいのか…困りました。紀子さんよりバトンを受け取ったので、久しぶりに大学時代の事を思い出してみようと思います。親族含め私の周りには、医療関係者は一人もいません。そんな中、私は小学生の頃から何故か薬剤師に憧れ、小6の文集には「将来薬剤師になります。」としっかり宣言していました。病院を受診するたびに、いつも乳鉢でゴリゴリしたりしている人が気になり、小さい頃から薬局の窓口（当時は院内薬局しかなかったはず）に張り付いて眺めていたのを覚えています。無事に薬学部に合格し、これで夢が叶えるとウキウキした気分で入学式を迎えるました。しかし時間がたつにつれ、「あー、今なりたいものが変わってしまっても引き返せないのかー」と二十歳前後の自己を見つめる時に、それなりに私も鬱々としたこともあります。でもまあ、あの時の選択は間違ってなかったと今は心から思っています。

私は今、那覇市のこくら虹薬局で働いています。入職した当初は処方箋枚数500枚を超えていて、大変な忙しさでした。ですが、私はそれよりも忙しい職場を経験したことがあります。それは、大学時代のバイトです。大学から徒歩圏内にあるパスタ屋で、フロア係をしていました。大盛りメニューが有名で学生さんがよく来てくれましたが、サラリーマンや休日には家族連れも訪れるような所です。休日は朝の10時にオープンですが、11時には行列が出来ていました。比較的こぢんまりとしたお店ですが、全部で50席程度はありました。ディナーはお酒を飲まれる方も

こくら虹薬局
久手堅 奈央



多く、比較的ゆっくりとされる方が多いのですが、ランチは学校や仕事の休憩時間に来られる方が多いので、目まぐるしくお客様が入れ替わります。まずお客様を席に案内し、お水を出して、オーダーを取ります。前菜のサラダ、パスタ、デザート、ドリンクを次々と提供します。デザートとドリンクは食事と一緒に提供するか、食後なのか、間違ってはいけません。合間に他のテーブルのお客がなくなっているので、お水を各テーブルに入れて回ります。夏は地獄です。会計もフロア係の仕事です。今なら続かないかもしれません、あの頃はバイトが楽し過ぎて辞められませんでした。オーナーはまかないによく味噌汁を作ってくれましたが、はじめは赤味噌が辛すぎてびっくりしました。名古屋の家庭の味は、すべてバイト先で知りました。常連さんからは、よく仕事の話を聞きました。あの頃に、学生だけではなく、幅広い世代や職種の方と出会えたことは、私の大きな財産です。

少し前になりますが、久しぶりに家族で名古屋を訪れました。今はまだ幼い子供たちですが、この子たちもこれから大切な思い出を沢山作っていくのかなと、感慨深くなりました。



次号には、備瀬 愛実 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！

薬連だより

政幸だより

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



アポテカプロジェクトと地域医薬品提供体制

2025年9月11日石川県白山市を訪問し、アポテカプロジェクトと地域での医薬品提供体制を視察させていただきました。

9月11日の朝、石川県薬剤師会の乙田副会長、伊藤副会長、直田理事とご一緒に石川県薬剤師会を出発し、白山市のコメヤ薬局本部にて代表取締役社長の長基健人先生と合流し、第一目的地のコメヤ薬局吉野谷店様を訪問させていただきました。コメヤ薬局様は金沢大学や白山市と連携し、高齢化が進んだ地方の中山間地域に薬局を開設し、地域住民の未病や健康維持、地域医療を支える薬剤師の養成に取り組む産学連携「アポテカプロジェクト」を実施されています。プロジェクトは人材育成という観点から、文部科学省の「地

(知)の拠点大学による地方創生推進事業」の一環として進められており、薬局では薬学生の実習のほか、病院や薬局の薬剤師の研修も受け入れておられ、地域を支える薬局のあり方を学ぶ場となっています。吉野谷店様は周囲に他にお店がない地域ということもあります。处方箋調剤はもちろんのこと、一般用医薬品販売や食料品、日用雑貨を扱っておられ、勤務されている管理栄養士も介入し、地域住民の幅広い健康課題に取り組んでおられました。

その後、国道157号線をさらに進み、コメヤ薬局白峰店様を訪問しました。地域における持続可能な医薬品提供体制やオンライン診療の活用策、在宅医療における休日・夜間対応の課題、電子カルテ共有による薬局薬剤師業務の変化、医療・介護提供体制の課題や健康サポート機能のあり方などについて、ここで合流した白山市薬剤師会の松田先生ともご一緒に、現場の状況を確認しながら、さらに深く意見交換を行うことができました。

結びに、今回の視察にご尽力いただきました石川県薬剤師会の中森会長をはじめ多くの先生方に対し、この場をお借り致しまして御礼申し上げます。



薬連だより

オレンジ日記

参議院議員・薬剤師
本田 顯子



臨時国会～新たな連立枠組みへの期待と懸念～

第219回国会（臨時会）が10月21日に開会しました。

報道各社が示す内閣支持率が60%を超える中、12月17日の会期末までの58日間、物価高への対応を最優先事項に据えて、「今の暮らしや未来への不安を希望に変え、強い経済を作る。そして、日本列島を強く豊かにしていく」（第219回国会における高市内閣総理大臣所信表明演説より）ための論戦が始まりました。

今国会では、政権運営の枠組みが自民党と日本維新の会による自維連立政権に変わりました。

両党が連立を組むにあたり、今国会開会前日の10月20日に「連立政権合意書」が交わされ、この合意書には国民に寄り添った経済対策等を実現することのほか、中長期にわたる日本社会の発展の基盤となる構造改革を推進するとして12の政策・施策が掲げられています。そして二つ目の柱として「社会保障政策」が記されています。

- ・「自由民主党・日本維新の会連立政権合意書」（自由民主党ホームページより）
<https://storage2.jimin.jp/pdf/news/information/211626.pdf>

既に前国会での委員会質疑などでも取り上げられているいわゆる「OTC類似薬」の保険制度上の取扱いについては、今年度中に具体的な制度設計を実現することとされています。連立により「政治の安定」は重要な政策実現には必要なことですが、一つひとつの政策の具体性について同床異夢に近い状態にある中で、拙速な結論に至らぬよう丁寧かつ緻密な議論が求められます。

また、「病院及び介護施設の経営状況を好転させるための施策を実行する。」とされていますので、昨今の物価高騰に伴う経営状況の厳しさは薬局を始め他の医療提供施設や福祉施設にも当てはまるこをしっかりと伝えてまいります。

両党の実務者による協議体の動きと連動して、党内での議論や所属委員会での質疑などを通じて、公的制度の下での医療・介護等の提供体制を堅持し、国民のいのちと暮らしを守ってまいります。



高市早苗総理の参議院自民党への就任あいさつ

日薬通達

日本薬剤師会（令和7年11月21日付け日薬発第201号）より、「国民医療を守るための総決起大会」開催の報告について、会員へ周知する旨の以下通知がございました。次頁より詳細をご確認ください。

「国民医療を守るための総決起大会」の開催について（ご報告）

平素より本会会務にご高配賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記総決起大会の開催について、本会も参加しております国民医療推進協議会の松本吉郎会長（日本医師会会長）より依頼があり、昨日、日本医師会1階大講堂、サテライト会場及びYouTubeでの視聴者等の賛同者約1万名が参集し、次第（別紙1）に沿って決議を採択して、盛会裏に終了いたしましたのでご報告申し上げます。

同総決起大会は、国民医療推進協議会が「国民医療を守るための国民運動」の一環として開催したものです。

なお、当日は三師会会長が揃って高市首相を訪問し、医科・歯科医療機関、薬局等における賃金・物価の上昇等への今年度中の補助金・診療報酬両面からの機動的対応について、要望を行いました（別紙2）。

本会では、今後とも、国民皆保険制度が堅持されるよう関係諸団体と連携し対応していく所存でありますので、貴会におかれましても引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

別紙1

国民医療を守るために総決起大会

一 次 第 一

主 催：国民医療推進協議会
 協 力：東京都医師会
 日 時：令和7年11月20日（木）
 午後2時00分～3時00分
 場 所：日本医師会大講堂
 ※日本医師会と道府県を
 つなぐWEB会議

1. 開会宣言

2. 挨 拶

国民医療推進協議会会长	松本 吉郎
東京都医師会会长	尾崎 治夫

3. 来賓挨拶

4. 趣旨説明

日本医師会副会長	茂松 茂人
----------	-------

5. 決意表明

日本歯科医師会会长	高橋 英登
日本薬剤師会会长	岩月 進
日本看護協会会长	秋智 弥道
北海道地区代表	山家 宏道
東北地区代表	松和 宏
関東甲信越地区代表	佐藤 一郎
中部地区代表	前田 智洋
近畿地区代表	木下 充明
中国四国地区代表	石川 英三
九州地区代表	藤井 栄明

6. 決 議

日本精神科病院協会副会長	平川 淳一
--------------	-------

7. 究張ろうコール

日本医師会副会長	角田 徹
----------	------

決議

医療・介護は公定価格で運営されているが、物価・賃金の急激な上昇に診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定が追いついておらず、医科歯科医療機関、薬局、訪問看護ステーションや介護事業所等は、著しく経営状況が逼迫しており、閉院や倒産が相次いでいる。

令和7年度最低賃金はプラス6%強、人事院勧告はプラス3.62%、また「骨太の方針2025」でも示された2025年春季労使交渉の平均賃上げ率は5.26%等となっているが、医科歯科医療機関、薬局、訪問看護ステーションや介護事業所等は、とてもこれらに対応できるような状態ではない。

適正化等の名目により、医療・介護の財源を削って財源を捻出するという方法でこれ以上削減されれば、地域の医療・介護の崩壊は避けられない。

よって、国民、患者、利用者の健康を守り、さらには国民皆保険を堅持するため、以下の対応を求める。

1. 令和7年度補正予算での対応

医科歯科医療機関、薬局、訪問看護ステーションや介護事業所等に対し、補助金と診療報酬・介護報酬等報酬の両面からの早急な対応を行うこと。

2. 令和8年度予算編成での対応

令和8年度診療報酬改定をはじめ、令和8年度予算編成において、賃金上昇と物価高騰、高齢化、医療の技術革新に対応した大幅なプラスとすること。

3. 財源を純粋に上乗せするいわゆる「真水」による大規模で抜本的な対応

これまで適正化という名の下で社会保障費は削られ続けてきたが、あくまで財源を純粋に上乗せするいわゆる「真水」による思い切った緊急的な対策を行うこと。

以上、決議する。

令和7年11月20日

国民医療を守るための総決起大会

別紙2

令和7年11月20日

内閣総理大臣

高市 早苗 殿

日本医師会 会長 松本 吉郎

日本歯科医師会 会長 高橋 英登

日本薬剤師会 会長 岩月 進

医科・歯科医療機関、薬局等における賃金・物価の上昇等への
今年度中の補助金・診療報酬両面からの機動的対応について

医科・歯科医療機関、薬局等ともに著しく経営状況が逼迫し、閉院や倒産が相次いでおり、賃金上昇と物価高騰、さらには日進月歩する医療の技術革新への対応が必須です。

賃金上昇につきましては、令和7年度最低賃金はプラス約6%、また「骨太の方針 2025」でも示された2025年春季労使交渉の平均賃上げ率は5.26%等となっております。一方で医療は公定価格で運営されており、診療報酬改定は2年に一度だけであり、医科・歯科医療機関、薬局等は、とても賃金上昇、物価高騰等に対応できるような状態ではありません。

すみやかに財政支援として令和7年度補正予算を編成し、期中改定もしくはそれに相当する補助を早急に行っていただくよう求めます。さらに令和8年度予算編成における次期診療報酬改定についても、大幅なプラス改定とするよう特段の配慮をお願いいたします。

なお、適正化等の名目により、医療費の一部を削って財源を捻出するという方法は取るべきではありません。前例のない大規模で抜本的な対応で財源を純粋に上乗せする緊急的な対策が必要です。

このままでは地域医療の崩壊は避けられません。国民、患者の健康、地域医療を守り、世界に冠たる国民皆保険を堅持するため、下記について特段の対応をよろしくお願ひいたします。

記

1. 公定価格で運営されている医科・歯科医療機関、薬局等において、経営の安定、離職防止、人材確保が図れるよう、賃上げが可能となる環境を整えること
2. すみやかに令和7年度補正予算を編成し、医科・歯科医療機関、薬局等への財政支援を行うこと
3. 令和8年度予算編成における次期診療報酬改定について、賃金上昇と物価高騰、医療の技術革新に対応した大幅なプラス改定とすること
4. 令和7年度補正予算、令和8年度診療報酬改定のいずれも財源を純粋に上乗せすること
5. OTC類似薬の保険給付の見直しは、安全性、有効性、経済性の面で国民にとって負担や不利益が大きいことから反対であり、検討を行う際には慎重に行うこと

医療保険

県内全保険薬局を対象とした
医療DXに関するアンケートの集計結果について（ご報告）

調査期間：令和7年8月27日～令和7年9月19日

回答件数 279/553 (50.4%)

平素より本会事業の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先日、県内保険薬局における医療DXの取組状況や課題等を把握し、今後の支援策検討につなげることを目的として実施いたしました標記アンケート調査につきまして、多くの会員の皆様よりご協力を賜り、誠にありがとうございました。

アンケート調査結果が取りまとめましたので、ここにご報告申し上げます。頂いたご意見は、今後のフォローアップや支援の充実に向けて活用してまいります。

引き続き、本会事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【電子処方箋】

1. 電子処方箋の導入状況について

	導入している	導入予定	検討中	導入していない
件数	226	17	13	23

2. 月平均の電子処方箋の受付回数を教えてください (R6.4.1～R7.3.31)

回数	無し	1回未満	1～10回	11～50回	51～100回	101回以上
件数	115	27	57	3	0	3

3. 電子処方箋を導入していない（検討中含む）理由があれば教えてください

理由	費用対効果	人員不足	システムとの互換性	門前が対応していない	その他
件数	12	2	2	20	6

【オンライン服薬指導】

1. オンライン服薬指導への対応について

(1) オンライン服薬指導に対応していますか

	対応している	対応予定	検討中	対応していない
件数	130	20	31	88

(2) どのシステムで対応していますか

	専用のシステム	ビデオ通話	LINE	その他
件数	90	20	42	8

2. 月平均のオンライン服薬指導で対応した回数を教えてください (R6.4.1 ~ R7.3.31)

回数	無し	1回未満	1~10回	11~50回	51~100回	101回以上
件数	67	17	36	1	1	0

【電子お薬手帳】

1. 電子お薬手帳の導入について

	導入している	導入予定	検討中	導入していない
件数	147	6	42	84

2. 患者さんに電子お薬手帳を推奨するために、どのような取り組みをしていますか(複数回答可)

	ポスター、チラシ等での掲示、配布	薬剤師からの声かけ、説明	QRコードの案内	特に推奨していない	その他
件数	69	59	82	93	1

【オンライン資格確認システム】

1. オンライン資格確認システムを導入して資格確認がしやすくなりましたか

	良くなった	変わらない	手間がふえた
件数	204	45	30

2. オンライン資格確認システムとマイナポータルを接続していますか

	している	していない
件数	237	42

3. マイナポータルからの情報が服薬指導に活用できましたか

	できた	できていない	特に変わらない
件数	122	53	74

年間目次

おきなわ薬剤師会報 令和7年もくじ

通巻326号～330号

	号数	月	頁
(表紙掲載会員作品)			
書「好古」	太田 節子	326	1・2 表紙
水彩画「咲く」	小那覇 幸子	327	3・4 表紙
水彩画「浮玉」	與那嶺 朝子	328	5・6・7 表紙
写真「崇元寺」	伊集 智英	329	8・9・10 表紙
水彩画「安曇野 冬の山里」	小那覇 幸子	330	11・12 表紙
(年頭挨拶)			
新年のご挨拶	前濱 朋子	326	1・2 4
新年のご挨拶	岩月 進	326	1・2 5
新年のあいさつ	糸数 公	326	1・2 6
新しい年を迎えて	本田 順子	326	1・2 7
新年にあたつて	神谷 政幸	326	1・2 8
年頭ご挨拶	國場 幸之助	326	1・2 9
ご挨拶	宮崎 政久	326	1・2 10
新年のご挨拶	島尻 安伊子	326	1・2 11
年頭のご挨拶	西銘 恒三郎	326	1・2 12
年頭のご挨拶	比嘉 奈津美	326	1・2 13
新年のご挨拶	渡嘉敷 奈緒美	326	1・2 14
新年のご挨拶	島袋 大	326	1・2 15
新年のご挨拶	新垣 淑豊	326	1・2 16
(祝賀会)			
令和6年度薬事功労受賞者合同祝賀会開催	川平 真央	326	1・2 18
令和6年度受賞者プロフィール	326	1・2	25
令和7年度沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会のご案内	330	11・12	1
(表彰)			
学校薬剤師制度創設70周年記念事業文部科学大臣表彰 上原陽子先生 平安山 丈継	326	1・2	2
那覇地区学校保健功労者表彰 吉田洋史先生	平安山 丈継	326	1・2 2
被災地支援薬剤師へ感謝状授与	長嶺 勇作	326	1・2 3
令和7年度日本薬剤師会有功賞受賞	327	3・4	1
大井雅江先生、川満建英先生、新城光枝先生、仲井間清先生、 中原慶子先生、仲村喜久子先生、野崎真敏先生、平安山春江先生、 宮城正明先生			

令和7年度沖縄県薬剤師会貢献賞 受賞 （石原英子先生、金城可代子先生、具志堅優子先生、 玉城幸輝先生、玉城克治先生）	川平 真央	329	8・9・10	1
第84回九州山口薬学大会表彰 狩俣イソ先生	川平 真央	330	11・12	2
令和7年度沖縄市教育委員会表彰 仲真良重先生	平安山 丈継	330	11・12	2
沖縄県薬事功労者知事表彰 幸地良信先生・諸見牧子先生	川平 真央	330	11・12	3
沖縄県薬剤師会会长表彰 （新城光雄先生・石川恵市先生・浦崎清子先生・高木英子先生・ 新嵩由香先生・盛本直也先生・野崎真敏先生）	川平 真央	330	11・12	3

（九山学術大会）

第84回九州山口薬学大会 シンポジウム5「多様な子どもたちの心と身体を守るために」	長瀬 涼	330	11・12	8
--	------	-----	-------	---

（災害対策）

令和6年度沖縄県災害薬事コーディネーター養成研修	喜久山 有沙	328	5・6・7	58
令和6年度BLS (Basic Life Support: 一次救命処置) 講習会	坂本 政文	328	5・6・7	60
災害時における薬剤師の役割 その3 災害と向き合うきっかけ	仲地 剛	328	5・6・7	110
災害時における薬剤師の役割 その4 災害への備え、薬局でできること	坂本 政文	329	8・9・10	44
沖縄県災害薬事コーディネーター令和7年度技能維持・スキルアップ研修会	西坂 順	330	11・12	10

（寄附・支援）

ナカムラ薬店から寄付がありました	大城 喜仁	327	3・4	2
沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式	川平 真央	327	3・4	3

（薬と健康の週間）

薬祖祭	大城 喜仁	326	1・2	39
くすりと健康フェア	村田 美智子	326	1・2	40
県民公開講演会	柴田 忠佳	326	1・2	41
「健康とおくすり相談会」「薬剤師になろう!こども調剤体験」	島袋 さゆり	326	1・2	42
広報活動について	川平 真央	326	1・2	45
論壇 深刻な県内の薬剤師不足	古謝 玄太	326	1・2	46
論壇 超高齢化社会に突入した日本 薬剤師の役割さらに重要なに 喜友名 朝史	326	1・2	47	
くすりと健康フェア告知チラシ		326	1・2	48

（公示）

一般社団法人沖縄県薬剤師会 監事選挙に関する公示	前濱 朋子	327	3・4	44
--------------------------	-------	-----	-----	----

（告示）

沖縄県薬剤師会代議員選挙結果	前濱 朋子	327	3・4	45
----------------	-------	-----	-----	----

〔実務実習〕

令和7年度第Ⅰ期薬学生実務実習	上間 秀子	328	5・6・7	54
令和7年度第Ⅱ期薬学生実務実習	宮本 直樹	329	8・9・10	12
認定実務実習指導薬剤師向けコミュニケーション研修会 ～指導薬剤師としての「心技体」～	具志堅 咲	330	11・12	16
第90回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ (薬学教育者ワークショップ) in九州・熊本 大城 研・橋本 正嗣・安田 泰行		330	11・12	17

〔総会〕

第91回臨時総会会長演述	前濱 朋子	327	3・4	4
第91回臨時総会開催	川平 真央	327	3・4	6
第91回臨時総会に係る資料		327	3・4	10
第92回定時総会会長演述	前濱 朋子	328	5・6・7	6
第92回定時総会開催 大城 喜仁・玉寄 博之・川平 真央		328	5・6・7	9
第92回定時総会に係る資料		328	5・6・7	43
第92回定時総会懇親会	川平 真央	328	5・6・7	49

〔学術研修〕

第38回沖縄県薬剤師会学術大会の演題募集について		328	5・6・7	89
令和7年度新任・新人薬剤師研修会	川上 雄一朗	329	8・9・10	9
令和7年度第1回沖縄県薬剤師研修協議会主催講演会 心エコー図から考える心不全ステージを踏まえた高血圧治療	神矢 佑輔	330	11・12	12

〔学術ニュース〕

「CEN Case Reports(Clinical and Experimental Nephrology Case Reports)」に 新江裕貴先生の症例報告が掲載されました。		329	8・9・10	1
--	--	-----	--------	---

〔日薬学術大会〕

第58回日本薬剤師会学術大会 そうだ、薬剤師に聞いてみよう～プロフェッショナリズムの涵養～	翁長 真一郎	330	11・12	4
--	--------	-----	-------	---

〔沖縄学術大会〕

第37回沖縄県薬剤師会学術大会	潮平 英郎	326	1・2	52
第37回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会	川平 真央	326	1・2	60
会員発表審査報告	中尾 滋久	326	1・2	61
奨励賞受賞発表要旨		326	1・2	62

〔青年部会〕

自衛隊那覇病院等見学	池間 記世	328	5・6・7	62
------------	-------	-----	-------	----

(卸薬部会)

令和6年度日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会	鈴鹿 玲子	326	1・2	69
日本医薬品卸勤務薬剤師2025年度「研修会」	奈良本 清佳	328	5・6・7	65
2025年度 卸勤務薬剤師部会総会 (日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄支部) 鈴鹿 玲子	鈴鹿 玲子	329	8・9・10	25

(薬業連合会)

「神農御尊像図」一幅拝受	大城 喜仁	330	11・12	9
--------------	-------	-----	-------	---

(月例相談会)

第199回健康とおくすり相談会	仲西 有希子	328	5・6・7	71
第202回健康とおくすり相談会	篠島 知	329	8・9・10	20
第201回健康とおくすり相談会	有銘 未香	330	11・12	22

(その他会務報告)

沖縄戦殉職医療人之碑へ慰靈	大城 喜仁	328	5・6・7	61
---------------	-------	-----	-------	----

(医療保険)

県内全保険薬局を対象とした医療DXに関するアンケートの集計結果について (ご報告)	330	11・12	48
---	-----	-------	----

(保健・福祉)

令和6年度薬剤師認知症対応力向上研修	中尾 滋久	326	1・2	64
なごみ会主催第11回県民健康フェア2024 健康とおくすり相談ブース	高橋 優斗	326	1・2	66
なごみ会主催第11回県民健康フェア2024 こども調剤体験ブース	東恩納 美月	326	1・2	67
論壇 健康長寿のかぎ握る働き盛り世代 意識高めること重要だ	松本 圭五	326	1・2	68
なごみ会主催第12回県民健康フェア	金城 耕晴・大槻 美佳	329	8・9・10	6

(行政部会)

令和6年度行政薬剤師部会総会等	喜屋武 千早	329	8・9・10	24
-----------------	--------	-----	--------	----

(女性薬部会)

女性薬剤師部会令和6年度第3回研修会

「女性を支えるヘルスケア～妊娠を望む女性が高齢化することの問題点～」	江夏 京子	327	3・4	30
令和7年度女性薬剤師部会総会	金城 みどり	329	8・9・10	21
令和7年度女性薬剤師部会研修会	諸見里 めぐみ	329	8・9・10	22

(国保・社保)

令和7年度レセプト提出締切日及び診療報酬支払日	沖縄県国民健康保険団体連合会	327	3・4	58
令和7年度診療(調剤)報酬請求書等受付及び返戻レセプト等発送日について	社会保険診療報酬支払基金沖縄支部	327	3・4	59

〔地区だより〕

卸の営業所なし、地域薬が「急配」 沖縄北部の備蓄センター、1600品目そろえ職員が対応	326	1・2	72	
地域の課題解決にフォーミュラリ 沖縄北部、流通難・基幹病院の薬選定にも期待	326	1・2	73	
第197回健康とおくすり相談会	長田 ゆかり	326	1・2	74
南部地区薬剤師会講習会				
大規模災害に備える～地域の薬剤師として出来る事～	松本 圭五	327	3・4	32
令和6年度中部地区薬剤師会総会	知名 博樹	328	5・6・7	68
令和7年度宮古地区薬剤師総会	下地 瞳夫	328	5・6・7	70
一般社団法人那覇地区薬剤師会第12回定時総会	久場川 さえ子	329	8・9・10	15
科学体験イベント「ストームグラス工作教室」開催	黒島 新	329	8・9・10	17
令和6年度八重山地区薬剤師会総会	荒谷 敏巳	329	8・9・10	19

〔DI〕

薬事情報おきなわNo.283	薬事情報センター	326	1・2	77
薬事情報おきなわNo.284	薬事情報センター	327	3・4	33
薬事情報おきなわNo.285	薬事情報センター	328	5・6・7	73
薬事情報おきなわNo.286	薬事情報センター	329	8・9・10	27
薬事情報おきなわNo.287	薬事情報センター	330	11・12	23

〔試験検査センター〕

試験検査センターからのお知らせ		326	1・2	91
試験検査センターからのお知らせ		327	3・4	43
試験検査センターからのお知らせ		328	5・6・7	72
試験検査センターからのお知らせ		329	8・9・10	39
試験検査センターからのお知らせ		330	11・12	37

〔薬草学〕

身近な薬草を知ろう 第68回暮らしの中の薬草学 マツリカ	狩俣 イソ	326	1・2	92
身近な薬草を知ろう 第69回暮らしの中の薬草学 ヤブツバキ	狩俣 イソ	327	3・4	46
身近な薬草を知ろう 第70回暮らしの中の薬草学 コーヒノキ(コーヒーの木)	狩俣 イソ	328	5・6・7	92
身近な薬草を知ろう 第71回暮らしの中の薬草学 ショウロウクサギ	狩俣 イソ	329	8・9・10	40
身近な薬草を知ろう 第72回暮らしの中の薬草学 かいわれ大根	狩俣 イソ	330	11・12	38

〔リレー随筆〕

ファッショントレンド	喜久山 有沙	326	1・2	94
ビジョン	上原 卓朗	327	3・4	48
魔法のことば	知名 博樹	328	5・6・7	91
せっかくだから…が重なって	新垣 紀子	329	8・9・10	42
「大学時代の思い出」	久手堅 奈央	330	11・12	40

〔役員紹介〕

新理事・新監事紹介

328 5・6・7 3

〔訃報〕

玉城仙子先生、野崎真敏先生、山崎今日太先生、ご冥福をお祈り申し上げます。	327	3・4	63
田場節子先生、神山康喜先生、嘉陽孝雄先生、新城光枝先生、ご冥福をお祈り申し上げます。	328	5・6・7	127
新垣美恵子先生、ご冥福をお祈り申し上げます。	329	8・9・10	71
伊集俊雄先生、ご冥福をお祈り申し上げます。	330	11・12	61

〔薬連だより〕

オレンジ日記「新年度に向けて～令和7年度予算編成ほか～」	本田 順子	326	1・2	96
政幸だより「創薬への取り組み」	神谷 政幸	326	1・2	97
沖縄県薬剤師連盟臨時評議員会	大城 喜仁	327	3・4	50
沖縄県薬剤師連盟会務報告 令和7年2月～3月分		327	3・4	53
オレンジ日記「喫緊の課題の振り返りと令和7年度予算案、次の『骨太』そして夏へ」				
「公認証を受け取りました～自民党大会開催～」	本田 順子	327	3・4	54
政幸だより「令和6年度の補正予算について」「次席理事を拝命しました」	神谷 政幸	327	3・4	56
第27回参議院議員通常選挙結果報告「本田あきこ」当選しました！	前濱 朋子	328	5・6・7	94
本田あきこ街宣車出発式、本田あきこ決起集会	川平 真央	328	5・6・7	95
本田あきこ参議院議員との意見交換会	草壁 瑞恵	328	5・6・7	99
令和7年度沖縄県薬剤師連盟定時評議員会 大城 喜仁・玉寄 博之・川平 真央		328	5・6・7	100
オレンジ日記「節目」「近況～薬機法改正法案を巡るコラボ～」				
「6月4日 先勝 事務所開き」「真夏の体調管理」	本田 順子	328	5・6・7	103
政幸だより「薬機法改正について」「紅麹サプリメント問題のその後」				
「医薬品提供体制の構築と後発医薬品調剤体制加算について」				
「医療用麻薬の流通と指定濫用防止医薬品の見直しについて」	神谷 政幸	328	5・6・7	107
オレンジ日記「感謝」「レボノルゲストレル製剤のスイッチ化」				
「女性局長としての総裁選挙」	本田 順子	329	8・9・10	49
政幸だより「骨太の方針2025」「原薬向上を視察」				
「病院薬剤師偏在解消への取り組み」	神谷 政幸	329	8・9・10	52
政幸だより「アポテカプロジェクトと地域医薬品提供体制」	神谷 政幸	330	11・12	42
オレンジ日記「臨時国会～新たな連立枠組みへの期待と懸念」	本田 順子	330	11・12	43

〔日薬通達〕

医薬品販売制度に関する自己点検結果について	日本薬剤師会	326	1・2	98
2025年薬剤師賠償責任保険・サイバー保険等の加入募集について 日本薬剤師会	日本薬剤師会	326	1・2	102
日本薬剤師公式キャラクター「ふあるみん」47都道府県薬剤師会ご当地デザインが完成		327	3・4	25
日本薬剤師会雑誌の完全電子化に向けた対応 紙冊子の郵送希望の受付開始日について		328	5・6・7	116
令和6年度医薬品販売制度実態把握調査結果について		329	8・9・10	55
「国民医療を守るための総決起大会」の開催について（ご報告）		330	11・12	44

〔地域医療提供〕

令和6年度地域医療提供対策委員会主催講演会～入退院カンファレンスから地域共生～

地域包括ケアシステムにおいて広がる病院薬剤師と保険薬局薬剤師の連携	座安 雄一	327	3・4	26
令和6年度薬葉連携会議	座安 雄一	327	3・4	28
令和6年度訪問薬剤管理指導推進事業 在宅訪問薬剤師連携講習会	齋藤 讓二	328	5・6・7	50
健康サポート薬局研修会	具志堅 咲	328	5・6・7	52

〔熟年集い〕

第15回熟年の集い	宮本 直樹	329	8・9・10	2
-----------	-------	-----	--------	---

〔会務報告〕

令和6年12月～令和7年1月分		326	1・2	110
令和7年2月～3月分		327	3・4	60
令和7年4月～6月分		328	5・6・7	121
令和7年7月～9月分		329	8・9・10	65
令和7年10月～11月分		330	11・12	59

〔転載記事〕

毎日新聞「薬と健康の週間」企画誌面 セルフケア・セルフメディケーションの強い味方が薬剤師	日本薬剤師会	326	1・2	49
第1回 薬剤師はあなたの健康をサポートします	日本薬剤師会	326	1・2	50
第2回 薬局でも医療DXが進んでいます！	日本薬剤師会	326	1・2	50
第3回 薬剤師によるフォローアップ、ご存知ですか	日本薬剤師会	326	1・2	51
第4回 薬剤師と考える災害への備え	日本薬剤師会	326	1・2	51
薬剤師や歯科医師体験 県内高校生31人豊見城で 北海道医療大OB協力		328	5・6・7	67
与那国と南大東閉局薬局で運営		328	5・6・7	69
薬学新設「財源確保・支援」国に要請へ 沖縄県、琉球大との協議取りまとめを公表		328	5・6・7	111
第9回健康経営シンポジウム 受動喫煙も疾病リスク		328	5・6・7	112
うちなー健康経営宣言クガニ（黄金）認定取得 一般社団法人ぎのわん健康支援センター		328	5・6・7	113
論壇 亂用防止教育 再考の余地 若者に広がる薬物	糸嶺 達	328	5・6・7	114
論壇 教員働き方改革「那覇市モデル」課題に対し休職者減少	古謝 玄太	328	5・6・7	115
「熟年の集い」楽しむ 県薬剤師会70歳以上の50人		329	8・9・10	5
17日に県民健康フェア		329	8・9・10	8
無料でエコー・骨密度測定 17日宜野湾で健康フェア		329	8・9・10	8
沖縄の病葉確保へ、昭和薬科大が給付金制度創設 最大414万円、県と覚書締結も		329	8・9・10	16
糸満 親子30人薬剤師が指南		329	8・9・10	18
薬剤師の仕事に挑戦 那覇 琉球光和が体験会		329	8・9・10	26
卒煙成功者24年度43.4% 協会けんぼなど3者連携		329	8・9・10	46
職場巻き込み4割卒煙		329	8・9・10	46
沖縄県難病相談支援センター難病情報誌「アンビシャス」連載記事 宮里威一郎・白坂 亮		329	8・9・10	47
浦島太郎な父	大城 尚美	329	8・9・10	69
人材が組織力強化 第10回健康経営シンポジウム	村田 美智子	330	11・12	41

(会員作品(誌上ギャラリー))

令和6年 誌上ギャラリー大賞&優秀賞決定!	326	1・2	裏表紙
写真「由布シルキーロードから見る由布岳」	322	3・4・5	裏表紙
写真「サガリバナ」	323	6・7	裏表紙
写真「癒しの窓辺」	327	3・4	裏表紙
写真「日本海オロロンラインから見る利尻島」	327	3・4	裏表紙
写真「足立美術館 庭園」	327	3・4	裏表紙
写真「春うらら」	327	3・4	裏表紙
写真「沖縄県久高島ロマンスロード」	328	5・6・7	裏表紙
写真 無題	328	5・6・7	裏表紙
写真「フヨウカタバミ」	328	5・6・7	裏表紙
写真 無題	328	5・6・7	裏表紙
写真「夕焼けに負けじと輝く二日月」	329	8・9・10	裏表紙
写真「キャンプ・キンザーの夜」	329	8・9・10	裏表紙
写真 無題	329	8・9・10	裏表紙
写真「夕涼み」	329	8・9・10	裏表紙
筆「神農御尊像図」	330	11・12	裏表紙
写真「星空を飲み込む光の街」	330	11・12	裏表紙
写真「秋の夕映 姫路城」	330	11・12	裏表紙

(在宅医療推進)

令和7年度訪問薬剤管理指導推進事業在宅訪問薬剤師座学研修会 在宅薬剤師の臨床推論スキルを磨く:

想定外の瞬間に備え～患者宅での判断力を鍛えるワークショップ～ 市岡 伶央名 330 11・12 14

(スポーツファーマシスト)

第79回国民スポーツ大会参加～アンチ・ドーピング活動の課題と今後～ 吉田 典子 330 11・12 20

(年間目次)

おきなわ薬剤師会報 令和7年目次 通巻326号～330号 330 11・12 50

(ぶれいくたいむ)

祖母の財布	大城 尚美	326	1・2	75
写真集	池間 きよ	326	1・2	113
旅立つあなたへ	大城 尚美	327	3・4	27
完走信じ月50キロ練習	古謝 玄太	330	11・12	7

○以下のコーナーについては、ページ等の詳細は省略いたします。

薬剤師綱領

薬剤師行動規範

編集後記

県民の皆様へ

あまくま薬立つ情報

お知らせ

会報原稿募集のご案内

県薬が会員に販売している印刷物等

会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

Facebookをご覧下さい！

地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！

沖縄県薬剤師連盟 Facebookをご覧下さい！

10月

- 4土○令和7年度第8回理事会 県薬研修室
- 5日○**令和7年度在宅訪問薬剤師座学研修会** 県薬研修室
- 6月○くすりと健康フェア開催周知 浦添市役所 沖縄県保健医療介護部 薬務生活衛生課：米村わかな、長嶺主任
- 6月○琉大学長表敬訪問事前打合会議 県薬会議室 阿部専務理事、沖縄県保健医療介護部 薬務生活衛生課：中村薬務専門監・泉水主幹、大城事務局長
- 6月○令和7年度第2回広報委員会 県薬会議室
- 7火○琉球大学学長へ薬学部設置に係る協力依頼のための表敬訪問 琉球大学 前濱会長、阿部専務理事、田名沖縄県医師会会长、米須沖縄県歯科医師会会长、沖縄県保健医療介護部 薬務生活衛生課：糸数保健医療介護部長・平良課長・中村薬務専門監・泉水主幹、大城事務局長
- 7火○琉球大学病院長表敬訪問 琉球大学 前濱会長、阿部専務理事、大城事務局長
- 7火○**薬学生実務実習「災害時医療と薬剤師」** 県薬研修室 講師：佐久川卓
- 8水○**薬学生実務実習「学校薬剤師って何？」** 県薬研修室 講師：知名常務理事
- 9木○沖縄県総合防災訓練第2回全体打ち合わせ 県庁・Web 災害対策委員会：知念理事・鈴鹿理事、長嶺主任
- 9木○令和7年度第1回地域医薬品提供体制対策委員会 県薬研修室
- 10金○令和7年度第2回沖縄県国保ヘルスアップ支援事業運営会議 県薬会議室
- 11土○日本薬剤師会第3回都道府県会長協議会 国立京都国際会館 前濱会長
- 12日○第58回日本薬剤師会学術大会（13日まで） 国立京都国際会館
- 13月○くすりと健康フェアPR（FM沖縄 fine） 株式会社エフエム沖縄 古謝副会長、松本圭五保健福祉委員会委員長、長嶺主任
- 14火○株式会社タカゾノ来訪 県薬会議室 前濱会長、阿部専務理事、大城事務局長
- 19日○**認定実務実習指導薬剤師更新講習会** 県薬研修室
- 19日○**薬と健康の週間：くすりと健康フェア**
- 20月○薬祖祭 波之上宮本殿 新垣名誉会員、神村相談役、亀谷相談役、前濱会長、川満副会長、大城事務局長、玉寄課長、長嶺主任
- 20月○緊急避妊薬販売に係る環境整備のためのモデル的調査研究に関する説明会 Web 村田理事、長嶺主任
- 23木○第2回那覇市保健医療審議会地域保健感染症分科会 那覇市保健所 阿部専務理事
- 15水○**薬学生実務実習「夜間救急医療について」** 県薬研修室・会営薬局医療センター前 講師：阿部専務理事
- 24金○令和7年度第1回薬事情報委員会 県薬研修室
- 25土○2025年度第35回沖縄県合同輸血療法委員会 県医師会館 阿部専務理事
- 26日○**令和7年度沖縄県災害薬事コーディネーター技能維持・資質向上研修** 県薬ホール
- 27月○なごみ会主催県民健康フェア第3回実行委員会 県医師会館 松本圭五保健福祉委員会委員長、長嶺主任
- 27月○令和7年度第1回実務実習受入委員会 県薬研修室
- 28火○**令和7年度第1回沖縄県薬剤師研修協議会主催講演会「心エコー図から考える心不全ステージを踏まえた高血圧治療」** 県薬研修室 講師：楠瀬賢也氏（琉球大学大学院 医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座 教授）

11月

- 2日 ○ **女性薬剤師部会研修会（漢方）** 県薬研修室・Web 講師：嶺井聰氏（嶺井第一病院 医局長）
- 6木 ○ 那覇市総合防災訓練「医療ブース」意見交換会 那覇市役所 知念理事、長嶺主任
- 6木 ○ **令和7年度第1回BLS講習会** 県薬研修室
- 7金 ○ 第3回沖縄県がん診療連携協議会 琉球大学西普天間キャンパス 前濱会長
- 7金 ○ 令和7年度第7回業務執行理事会 県薬会議室
- 8土 ○ 山本信夫前日本薬剤師会会长の叙勲祝い 帝国ホテル 前濱会長
- 9日 ○ **令和7年度沖縄県薬剤師認知症対応力向上研修** 県薬研修室・Web
- 10月 ○ 令和7年度第1回沖縄県慢性腎臓病対策協議会 県庁 喜屋武理事
- 10月 ○ **薬剤師のための災害医療スキルアップセミナー in沖縄③** 県薬ホール・Web
- 11火 ○ 厚生労働省医薬局総務課との電子処方箋に関する面談 Web 川満副会長、宮城常務理事、照屋林一郎、長嶺主任
- 12水 ○ 沖縄県U I ターンガイダンス（長崎国際大学） 長崎国際大学 沖縄県保健医療介護部 薬務生活衛生課：中村薬務専門監・喜屋武、事務局：大城事務局長・平安山
- 12水 ○ 市町村支援アドバイザリー事前打ち合わせ 県薬会議室 盛本理事、那覇市保健所 健康部 健康増進課 特定保健指導グループ：宮城京子主幹・胡宮まみ氏、事務局：比嘉
- 12水 ○ 令和7年度第1回沖縄県医療保健連合（なごみ会）幹事会・懇談会 ザ・ナハテラス 前濱会長、川満副会長、古謝副会長、阿部専務理事
- 13木 ○ 第205回健康とおくすり相談会 琉球新報社 長嶺主任
- 13木 ○ 令和7年度沖縄県学校保健会表彰審査会 県庁 前濱会長
- 14金 ○ 令和7年度第2回沖縄県薬業連合会代表者会議 県薬会議室 前濱会長、大城事務局長、玉寄課長
- 15土 ○ 沖縄県薬物乱用対策推進地方本部長感謝状表彰 沖縄県市町村自治会館 前濱会長、知名常務理事、吉田洋史那覇地区薬剤師会会长
- 16日 ○ **第38回沖縄県薬剤師会学術大会** 県薬ホール・研修室
- 17月 ○ 株式会社ファルモWEB会議（令和7年度地域医薬品提供体制強化事業） 阿部専務理事、盛本理事、喜屋武理事、事務局：比嘉
- 18火 ○ 長谷川浩一日本薬剤師研修センター 専務理事来訪 県薬会長室 前濱会長、阿部専務理事
- 18火 ○ 協会けんぽ沖縄支部来訪 県薬会議室 前濱会長、阿部専務理事、大城事務局長、長嶺主任
- 20木 ○ 国民医療を守るために総決起大会並びに沖縄県医療推進協議会 県医師会館 阿部専務理事
- 20木 ○ 第75回全国学校薬剤師大会・懇親会 ヨコハマグランドインターナショナルホテル 前濱会長、知名常務理事、新垣学校薬剤師部会会长
- 20木 ○ 緊急避妊薬を販売する薬局・店舗販売業の店舗における近隣の産婦人科医等との連携体制の構築の依頼に係る沖縄県医師会訪問 県医師会館 村田理事、長嶺主任
- 20木 ○ 令和7年度沖縄県・那覇市総合防災訓練振り返り会議 県薬会議室・Web 災害対策委員会：姫野常務理事・知念理事・鈴鹿理事・西坂順・春田崇彰・西澤香織・山内一姫・新垣慎太郎、長嶺主任
- 21金 ○ 令和7年度第3回広報委員会 県薬会議室
- 27木 ○ 令和7年度上期監事監査 県薬研修室 前濱会長、川満副会長、阿部専務理事、事務局：大城事務局長・玉寄課長・上原主任・荒殿

- 27木 ○ 令和7年度第1回沖縄県国民健康保険運営協議会 県庁 宮城常務理事
- 27木 ○ 令和7年度第2回沖縄県薬剤師研修協議会主催講演会「慢性腎臓病診療における薬剤師への期待」 県薬研修室 講師:古波蔵健太郎氏(琉球大学病院 血液浄化療法部 診療教授・部長)
- 28金 ○ 沖縄県薬剤師会百周年記念事業 第1回会史発行実行委員会 県薬研修室
- 29土 ○ 令和7年度 第1回日薬九州ブロック会議 ホテル・レクストン鹿児島 前濱会長、川満副会長、盛本理事、事務局:比嘉
- 29土 ○ 令和7年度 第1回日薬九州ブロック会議懇親会 ホテル・レクストン鹿児島 前濱会長、川満副会長、盛本理事、石川幹事長、事務局:比嘉

沖縄県薬剤師連盟

10月

- 19日 ○ 日本薬剤師連盟薬剤師フォーラム AP日本橋 四谷祐子総務、市岡伶央名総務

11月

- 1土 ○ くろしまあらた後援会主催くろしまあらた総決起大会 くくる糸満 名嘉副幹事長
- 6木 ○ 黒島 新 糸満市議会議員選挙立候補に伴う川田哲日本薬剤師連盟幹事長との懇談 月桃庵 川田幹事長、前濱会長、川満副会長、石川幹事長、阿部常任総務、大城事務局長
- 7金 ○ 黒島 新 糸満市議会議員選挙立候補へ日本薬剤師連盟推薦状交付 くろしまあらた後援会事務所 川田幹事長、前濱会長、川満副会長、石川幹事長、阿部常任総務、黒島 新候補者、新垣秀幸南部地区薬剤師会会长、大城事務局長
- 29土 ○ 令和7年度日本薬剤師連盟九州ブロック協議会 ホテル・レクストン鹿児島 前濱会長、川満副会長、石川幹事長、盛本総務、事務局:比嘉

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

伊集 俊雄先生 (享年84歳) 令和7年11月5日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
(香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願ひします。

【連絡先】沖縄県薬剤師会事務局 (上原・大城) : 098-963-8930

編 集 後 記

平成9年(1997年)の5月に発行された「沖縄県薬剤師会七十年史」を皆さんご覧になつたことがあるでしょうか。深い緑を基調とした落ち着いた感じの装丁で、記念誌らしい風情がある。今回必要に迫られてしっかり読んでみたが戦前・米軍統治の占領時・日本復帰と読み応えのある内容で、この本の作成に関わった諸先輩方のご苦労が忍ばれる。月日は流れて来年(2026年)には創立100周年を迎えるのを記念して「沖縄県薬剤師会百年史」を発刊ことになった。そこで問題になつたのが「七十年史」の扱いである。しかし現物を目の前にすると本の中身に手を入れる事など出来そうもない。そこで「七十年史」はそのまま触らず「上巻」として、「下巻」を百年史の体裁を整えながら、且つ「七十年史」以降の諸問題についてまとめていく方向にいきそうである。 (ピアナ)

今年の10月から16年ぶりにうちなーんちゅとなった私。沖縄は空が青く緑豊かで風が気持ちいいですね。そんな久々うちなーんちゅの私が洗礼を受けているのが投薬でのおじいおばあとの会話です。

特にうちなーイントネーションと英語を織り交ぜてくるおじいおばあは強敵で頭がフル回転です。あとは地名や苗字が難しい! 例えば薬お届けに行った際、「マンション名〇〇御殿(ごてん)ですか?」と確認すると、「違う。うどうんだ。」と言われた時はそれはもう驚きました。今まで内地の産婦人科の病院に勤めていたのですが、沖縄では整形外科。そちらの科目の自己研鑽と共に沖縄への理解を深めるのが今後の課題になりそうです。 (ぽんず)

親にとって子どもの第一声は記念すべきものである。よくあるシチュエーションとして「ママって言ったよ」「いやさっきのはパパって聞こえた」などと言い合う場面が思い浮かぶであろう。1歳3か月になる我が子(双子)もご多分に漏れず、つい先日意思を持って発する第一声を聞くことができた。

とある休日にショッピングセンターに出かけた時、うちの子たちはあちこち歩きまわっていたが、クリスマスシーズンということもありあちこちにサンタクロースの人形が置かれていた。そんなサンタの人形を見つけた長女は今までの笑顔が消えて急に怯えた顔になりこちらに逃げてきた。どうしたどうしたと抱き上げてその人形に近づいたところ確かに意思を持ってはっきりと発した言葉は、、、「イヤーーーー！！」。長女の記念すべき第一声は「ママ」でも「パパ」でもなく、「イヤーーーー！！」となった。

次女の第一声も間もなくと思われるが、何と発するのか楽しみである。 (ハンバーグ)

2025年10月26日に災害薬事コーディネーターの技能維持研修を受け、災害時の流れや薬事支援についてあらためて整理する良い機会となりました。ちょうどその後の11月24日には、沖縄県大宜味村で導水管が破裂し、中南部を中心に広い地域で断水が発生しました。私自身もウォーターサーバー用の水を買いに出かけましたが、すでに行列でなんとか購入できました。こうした経験は、日頃からの小さな備えの大切さをあらためて教えてくれます。地域の健康を守る薬剤師として、いざという時に頼りにしてもらえるよう、平時からの備蓄や情報共有、連携体制を今一度見直しておきたいものです。

(アリゴリ)



誌上ギャラリー(裏表紙)について

左:「神農御尊像図」中島来章 筆

右上:「星空を飲み込む光の街」photo by 伊集 智英 (くはら薬局) 撮影地:イオン南風原が見える高台

右下:「秋の夕映 姫路城」photo by 白坂 亮 (会営薬局医療センター前) 撮影地:兵庫県姫路市

会報原稿募集のご案内

広報委員会

どしどし
お寄せ
下さい!

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します(薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です)。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

・誌上匿名は可能です。

・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随时募集しております(手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します)。

☆原稿送付先(会報に関する問い合わせ)

沖縄県薬剤師会事務局 川平まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kawahira@okiyaku.or.jp



沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kawahira@okiyaku.or.jp

■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937

■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932

■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-6026

おきなわ薬剤師会報

第330号 令和7年12月15日発行

◇次号は、令和8年2月中旬頃発行予定です。

発行人:沖縄県薬剤師会 会長 前濱朋子

編集:広報委員会 委員長/宮城敦子 委員/池間記世・運天芳生・宮本直樹・古謝有沙・前野こずえ
久米島通信員/山城晶 宮古地区通信員/下地睦夫

八重山地区通信員/城野智哉 事務局/大城喜仁・川平真央 印刷:株式会社 東洋企画印刷

誌上ギャラリー

会員作品
お気軽にご投稿下さい。

